



# 文豪への道



日々精進 1

苔田 カエル

★12月31日

朝からフル活動で疲れた。  
買い忘れて、スーパー2回往復。  
相変わらず、テレビおもしろくね～。  
日本人の義務で、紅白見てます。  
且つ、日本人の義務で0時30分前、年越し蕎麦食べねば。  
わし、蕎麦アレルギーなのでうどんだけどね。  
それまで体力持つか？  
深夜の元朝参りはパスです。命もたね～。

来年の抱負。  
パプーに、「頁の移動、ちゃんとしてお！」と文句をつけたる。  
がんがん儲けたい。  
そんな感じ。

今年も読んでくれてありがとうございます。  
来年もよろしく願います。

な～んちゃってね！  
12013年 平成25年 終了。

★12月30日 お飾り完了。

姐さん、事件です！  
うちの御風呂場の窓の下に、昨夜未明、何ものかがおしっこをひっかけた模様。  
今年最大のミステリーだ。  
何が不思議って、現場は路上に面しておるのだが、  
どうやっておしっこをひっかけたのかだ。  
うちの御風呂場は、地上から割と高いところにあり、  
現場は、人の背丈よりもやや高く、一般的な立しょんレベルでは無理な位置。  
脚立に登ってひっかけたのか、車に登ってひっかけたのか、  
はたまた、どんだけ高く飛ばせるか競争でもしたのか……。  
これが、人であったらの場合だが。

獣とも考えられる。  
それにしてもどうやって？  
のぺ～としたコンクリートの壁だ。  
足懸かりとすれば、僅か1センチほどの出っぴりが渡っているくらいだ。

猫や犬では無理だろう。

ネズミにはしては、量が多すぎ。

お風呂が漏れた可能性もあるが、それであつたら常に沁みてる筈。

昨夜、家人がお風呂に入っている時、しゃ〜っという怪しげな音を聞いたと言う。

見回してみたが、水漏れしたのは、他に形跡がない。

獣のおしっこだったら、匂いを消しとかなきゃ。

万年トイレにされてまう。

暮れの忙しい中、ホト、迷惑なことだ。

## ★12月29日

げろげろだちゅうに窓ふき掃除。

朝、も〜にんぐ\*んでーを見た。

予想通り、早速、靖国問題に噛みついた。

ふとったおじちゃま、靖国参拝反対なのはよくわかるけど、

言えば言うほど、聞いている方はこんがらがってくる。

戦犯は、悪者なのか？

名指しを受けて裁かれた者のみで、戦争は引き起こせたのだろうか？

マスコミは扇動しなかった？

沸き立ったのは国民ではないのか？

確かに、戦争を回避する手段はあつたらしいけど、

回避する努力を敢てせずに、高みの見物をしていた者もいたんじゃないの？

戦争の責任を、名指しされた人々だけに押しつけて、しら〜っとしていいものか？

戦犯、戦犯、と口に泡吹いて言っているのは、虫がいいような気がする。

戦争は、日本人国民全体の問題であり、人類の問題でもあると思う。

つまりは、人類全てが戦争の罪を共有すべきであると思う。

世界大戦だけが戦争じゃないでしょ。

それに、政教分離の原則の観点からも批判していた。

難しいところだ。

考えれば考えるほどこんがらがっていく。

日本の歴史は、古事記や日本書紀などのように神話のなかにある。

天皇陛下の最も大切なお務めは、国・国民の為の祈りだと言う。

この国にある以上は、神話の中の神々を否定することはできない。

しかし、軍国主義が神道を利用した。

そこに、本来あるべき神道のイメージが歪められてしまったのだろう。

靖国は宗教なのだろうか？

天皇は宗教なのだろうか？

靖国は宗教法人なので、宗教なのだろうけど・・・・。

カエルの頭では、何とも整理し難い。

日本人の感情と考えと歴史を 世界の人々に知ってもらうことが重要なことだと思う。

『恨』信仰は、なにもいいことがない。

★12月28日

ごぼうめ買うの忘れた。

正月の御飾は全部そろたとおもたのに。

じじい～の体力で、はたして店に辿り着くのやら……。

もう、売り切れてないかも。

そんなげろげろな今日この頃。

何を思ったか、はたとひらめいた。

『恋うほどに～』の表紙に、一節、書き加えたらどないでしょか？と……。

思わせぶりな言葉で読者をそそののだ作戦。

しかしながら、JPEGしちまた後は編集が大変。めんどいのでヤメ。

そんな訳で、1頁増やすことにした。

思えば、閲覧数が伸びない要因は、物語の流れが見えないところにあったのでは？

そもそも、これは、以前書いた話を、登場人物一点の視線でのみ表現したもので、読者には、状況が把握しきれなかったのかもしれない。

もともとは3部だか4部から成る構成で、基本2人には変わりはないが、多少人物に変化があった。

あまり詳しく書くと、おまけが売れなくなるので、以下省略。

と、そんなこと妄想しながら書き加えて見た。

★12月26日

坊主も走る程忙しい年の瀬だって～のに、全くもって不甲斐ない。

熱はさがったものの、所詮薬の力。

げろげろでよろよろなのに変わりは無く、唯一、お陰さまで頭痛だけは回避。

相変わらずの腹痛をかかえ、やまいだれてます。

なかなか新作にかかる時間も体力もなく、

その癖、床に伏せている間、巳いさまの話にうなされていた。

これを書けてことかしらん？

朦朧とした頭の中で、ぐるぐるぐるぐる構想しはじめ、

公開済みの第一話との相関性に不具合が。

それにしても、優柔不断な時代設定が悔やまれる。

嗚呼、その前に今書きかけ書かねば……。

時間も体力もなく、おまけにお金もね。

二兎も三兎も追いかけて、結局何一つ手にはできないのであった。

★12月25日 げろげろなクリスマスはクルシミマス会。

それは、聖なる降誕祭イブ前夜、天皇陛下のお誕生日。

朝から何だか調子が悪い。

変な失態を繰り返す。

「PC、お前もかあ！」

とばかりに、PCさえも大不調。

ついてない時って、何処までも調子が悪い。

何だか今日は嫌な日だな・・・と思いつつ、遂に、不運は夜にやってきた。

ウィルスバスターが切れた！ げろげろ。

次の朝、それは聖なる降誕祭前日。

立ってられん程の頭痛に腹痛。 熱は38度線越え。

予防接種は受けたはず。

しかも、じじい仕様で2回も。

ふらふらになって、病院言ったら、医者はあくまでも風邪だといいはる。

ウィルス検査も体温も計ることなく、薬貰って帰って来た。

ああ、意地でもインフルエンザとは言えまい。

そして今日、貰った薬がきいたせいか、随分楽になった。

インフルエンザではなかったのだね。㌸㌸。

PCにもお薬をば・・・出かけらんないんでネット購入をと思ったが、

何か年数が合わないので、冷静になって探したら、やっぱり有効なウィルスバスターあったよ。

何かの拍子で消しちゃったんだね。アル～？

P. S クリスマスに月島でお好み焼きご馳走してくれるって言ってたけそ・・・。

★12月23日

相変わらずの頁のばらばらさには嫌気がさす。

これはも～嫌がらせとしか思えない。

しかし、何の？

数字を、自動的に若い順から並べるシステムになってんじゃない？

しかし、何で？

もうお客さんが来ないかと思って、一部試し読みを打ち切ったのに、  
ぽつぽつと閲覧客が増えていた。

申し訳なく思う。

すると、気持ちがぐらつくのだ。

より多くの人に読んでもらべきなのだろうか。

より多くの人目につこうと、他でもupしてしまった。

そこでは、試し読み機能がない。

思いっきりの悪い性格である。

★12月21日

活字離れ、本離れと言われている割に、  
本を出したい人が増殖中とは変な話だな。  
自分なんか、その凶々しさといったら、最たるものだ。

どうしたらいいのだろうか？  
どうしたら書けるのだろうか？  
読む本の中に、答えはあるのだろうか？  
巡り合った人が、教えてくれるのだろうか？  
何処へ行ったら、答えはあるのか？  
答え？  
応え？  
ねえ、応えてよ。

しかし、不思議なのだ。  
文章が教えてくれる。  
まるで何かに導かれて行くように。  
本当に自分が書いたのだろうか？  
書いてはいるが、実感がない。  
書いて行くうちに、自分の思考を超えた力が働くのだ。  
何故そうなるのか、話は進み、終わった頃によく理解できるといった具合に。  
これは何を意味するのか。  
これが未熟ということなのか？  
自分では、役不足な感が否めない。

それにしても、アプローチの仕方がよろしくない感じがする。  
もっと美しく、もっとスマートにできないものか？  
聞き覚えのある言い回しを使ってみたり、  
言葉の貧困さが情けない。

それに、人の心理に間違っていやしないか？  
本当に、書いたように、人は思い、行動するのだろうか？  
細かく表現しようとするほど、疑問が湧いてくる。

いっそ、誰か書いてよ。  
提供するから、これを書いてよ。伝えてよ。  
そう願ったりもする。

他の人なら、もっと的確に、美しく表現できるんじゃないかってね。  
書きたいことがあるというのに、自分は本当に役不足だ。

★12月20日

完全締出しの刑。  
きつね・ちょろめではゴシック使えないし。  
何の攻撃だ！！  
新作の入力ができね。

多分、キンド\*向け改善作業が原因と思われるが、  
キン\*ルガイダンスガイドに沿って修正しろって、  
だったら自力でUpした方が早いんじゃないの？  
と、思ってみたり・・・・・・・・。

どうでもいいから 早く なんとかしてよ。

★12月19日

道理で、はだづまりが治らないと思った。  
薬を間違えたのだ。  
頭痛とはなづまりと・・・・・・・・。  
でも、頭痛があったので、飲んでも正解。  
しかし、効いた感じがしなかった。  
・・・・・・・・？  
そんな感じ。

★12月18日

もはや頁がばらんばらん。  
エクスローラからは追い出されて、入れないし。  
これは、キンドル向けシステム改善作業の弊害じゃなかるか？  
早く、頁移行ができるようにしてくりえ。  
且つ、きつねでもフォント、ゴシック変換可能にしてくりえ。

★12月15日

まあ なんだ。  
そろそろお客さんの足も途絶えて来たことだし、多分、一通り読んでもらったことだろう。  
どんな文章を書くか、大体理解してもらえたと思うしね。  
作品も大分そろってきた。

ここいらで思い切って、試し読み設定を、ばっさり切ることにした。（一部の作品について）  
長らく読んでくれてありがとうございます。  
今後とも、よろしくお願いします。

★12月14日

こっそり企画がやっと三ヶタになった。  
そろそろ第二弾はじめようかな。  
お客さんの足も、途絶えて来たようだし。  
新作も、なかなか終わる様子がないしね。

★12月13日

エクスローラーの調子が悪いので、キツネでやってみた。  
・・・・・・・・・・。  
未だ、ゴシックがきかない。  
断念。ガックシ。

今書いている作品だが、  
ラノベの書き方で、現在と過去が交差する構成は良くないって。  
読む人が混乱しちゃうから。  
とあったが、思いっきり交差しまくってんですけど。  
おまけに未来のことまで妄想しちゃって。  
最も悪い例だ。

プロには効果的な手法だが、素人は避けた方がいいって。  
しかし、話の進行上、回想しないとなんのこっちゃか、かえって読む人が混乱すのでは？  
と言う訳で、中とって、回想シーンはあっさり少なめにすることにした。  
ん そうゆうことじゃないの？

★12月11日

抜群の素人感を払拭するのに、表紙に加工を施してみた。

・・・・・・・・・・。

問題は、どこだ？

ついでに、もう一作UPしちゃったりして。

おまけも、それらしいものに変更しちゃったり。

かなりはったりきかせてますが・・・・・・・・。

★12月10日

パブーのおしらせ 刊。

何か調子が悪いと思ったら、エクスローラとの不具合が生じてるらしいね。

また、何かの攻撃かと妄想しちゃったよ。

次。

キンドルストアが、大変なことになってるみたい。

クオリティーチェックって、個人的に指導してくるのかな？

どんなメールが来るか、興味ある。

そもそも、パブーのレビューだが、不親切だよな。

スマホ持ってないから、自分の作品どんな風に表示されるかわからないじゃないの。

キンドルレビューソフトで確認して、愕然とした。

変なところで改ページになってるし、

これじゃあだめじゃない。効果まるつぶれ。

基本、閲覧してくれている人は、多分、PCからだと思うので、

だったら、影響ないかと思うけど、

他の人の文章と違って、1頁ごとの表現となるので、途中改頁になるのはやっぱり拙い。

レビューにスマホ用もお願いしたい。と、メールおくってみよか？

★12月9日

全然進まない。

原因は、気が多すぎ。

そう言えば、ラノベの書き方に、

『悪魔』『妖精』『魔法』ネタには、も～辟易とあった。

なんでも、またかお！的で、読者は、途端、読む気を失せるとか。

嗚呼、思い切りお題に使っちゃってる。アルアル。

話は飛ぶが、羽生選手凄いな。

金とったら、仙台はどえりゃ～ことになるんだろうな。

イナヴァウワーは、宮城門下必須技になっちゃうとか。

金輩出地として仙台は、スケータのパワースポットになるとか。

見た目もさることながら、その背景に、おやじ体系のチャンより、ドラマがあるな～。

それにしても、浅田選手の選手人生はドラマチックすぎる。

叩かれ続けた日本の姿とだぶる。

今度は是非とも金を取ってももらいたい。

自分も、着実に、少しづつでも、前へ、前へ。

### ★12月6日

全然本が売れない。

表紙のせいでしょ。

素人丸出しで。

何でも、表紙次第で販売率が1.5倍は増えるとか。

表紙作りは時間がかかる。

そんなことに時間は裂きたくない、と実感。

今 新作書いてます。

ほったらかしにしすぎて、飽きてきた。

緩慢・散漫で、違う話が書きたくなった。

巳いさまのお話の連載が終わり、「だから俸刀ってなんなのさ」と気がつく。

これはこれ、あれはあれで、俸刀についてエピソードの一つや二つ書かねばね。

それにしても、今書いているお話、終わらせなきゃね。

次、行きたいけど、苛々。

★12月4日

はだがつまりゅ。風邪かな？

予防接種をしているおかげで、インフルエンザが鼻づまり程度でおさまっているのでしょうか？

それにしても、ぐるじい～。

それはそうと、今連載中の作品の連載が終わってしまう。

しまったことに、次回作が未だできてない。

それもこれも、あいつのせいだ。

そうだ、キンドルのせいだ。

表紙を作るだけに どれだけの日々を費やしたことか。

もう面倒臭すぎて、辞めた。いや、当分辞めだ。何にもできない。

と言う訳で、新作を地道に書くことにしやした。

★12月1日

実は、出雲大社に行ってきたのだ。

高速ぶっ飛ばして行ってきた。

永遠に続く山並みを抜けて。

日本海側の山の天気は不安定だ。

山々から立ちこめる靄は、天へと昇る。

古の人達には、どう映ったのであろう。

科学的な現象さえも、神秘的に思える。

今度はゆっくり参拝したい。

むかしむかしの神代を思って。

★11月30日

今朝、「ぶらあ〜り」で、たい平ちゃんの実家が出た。

そして、たいへい母のご登場だ。

その後、「竹取物語」の宣伝番組に変わった。

日本放送だからね。

ちょろっと見たけど、やっぱ第一線に行く人は、着眼点が違うよね。

高畑氏が、平安の時代を題材とした絵巻物の話をしていた。

天井眉の不思議であるとか、躍動的な描写とか。

へえ～ 面白い。

ローマは一日にしてならず だな。

充分なりサーチがあつてこそ、独自の世界観が出されるのだろう。

自分に足りないもの、表現の未熟さもさることながら、  
そうした下地が不十分であることに、つくづく思い知らされる。

当時の言葉を知りたい。

物の名前を知りたい。

どんな言い回しをしてたとか・・・・・・・・。

誰か考証してくれと、切実に思うのである。

★11月29日

「姐さん方 事件です！

出雲大社の縁結びの御札が売れ切れです。」

だってさ。

★11月28日

余りにも長過ぎるドラフト会議。

その審議の内容は・・・何？

誤字脱字、レイアウトに問題ありか？

それとも考えたくないけど、内容が公開までに満たないとか？

.....。

というわけで、フヨフヨっと本の詳細画面を変更してみた。

おおおおお。

何だか知らんが、公開まであり付けた。

結局、何が悪かったのか、未だ不明。ムドケ。

★11月20日

土日を挟んだ長いドラフト会議が終わった。

遂に、公開までこぎつけた。ヤヤ。

それに調子こいて、第2作目up。

売れるかどうかなんてかなり難問疑問だけど、

完全、自己満足の世界かもしれないけど、

世界的規模で打ち上げて見た。

★11月17日

ジャンル分けで、これは何？

多分、散文詩。

選択肢にないので、叙事詩でいいかい？

ちっと違う感じも。

でも、まあ、いいや。

★11月16日

頁が崩壊している。

何の攻撃だ？

.....キンドル投稿へのいやがらせか恠。

表紙作るのがめんどくさい。

おかげで、何にもできない。

お金のある人は、パブーであんちょこに作った方が断然楽だよ。

★11月14日

表紙ができた。

プレビューしてみた。

頁が途中で切れてる。

なるほど、こうなっちゃうのね。

多分、スマホ画面でも切れちゃてるのね。

散文詩的な形式では、かなりまずい。

効果が薄れてしまう。

仕方がないので、途中で改ページした。

そして、遂に、キンドルUp。ヤレヤレ。

日本語の説明が何だか不自然だし、記入例がないので、不親切。

もはや想像の世界。

何事もなければ、2～3日位で上場するでしょ。

★11月13日

目次のリンクがなんとかできた。が、戻りのリンクは？  
と言う訳で、戻りのリンクはなし。といったところまでこぎつけた。  
今度は表紙。作るのめんどくさい。  
1000ピクセルなんてどうかしてる。  
画面にはいりきれないんだけど？  
と言う訳で、表紙を作成する必要があるので、upはフットかかるかも。

ろいあるて〜が35%って、ざっと計算してみた。  
1000万円売りあげて、手にするお金が350万円。  
・・・・・・・・・・。  
1000万円売するには、100円／冊、10万の冊売上か？  
げろげろ。

★11月12日

KDPのHP読んでみた。  
・・・・・・・・・・。  
こんなことで、投稿できるのであろうか？  
投稿できたとして、読んでくれる人っているのだろうか？  
どうせ埋もれて行くだけでしょ？ と思いつつ、UPしてみよう。  
どうせタダだしね。

★11月11日 今日 日は 麵 の 日 ツイ

ライトノベル作法研究所なるサイトを見つけて、読んでみた。  
なるほろ〜。  
そんな中、『今日からKDPで本を出版しよう！』サイトを知った。  
キンドルに無料で本が投稿できるサイトだ。  
へえ〜 と 読んでみた。  
・・・・・・・・・・分りづらい。mmm。  
しかしながら、キンドルで本が出せるのだ。  
ここは是非とも読解析を。  
と言う訳で、本を投稿してみようと思う。

ついでに、ゴーストライターの広告もあったので、これも見てみた。  
なにゅ！募集もしている。  
京都在住・・・・・・・・ガックン。

★11月10日

今、秩父が熱いらしい（太平氏曰く）な。

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』効果らしい。

長いタイトルだが、綺麗な音だ。

そこで、今更ながらにユーチューブで宣伝してみた。

ついでに、ラストシーンもね。

なるほど・・・・・・・・。

TeT もえ～。

★11月9日

11月23日 竹取物語公開 そそられるも、その日は予定が入ってしまった。  
且つ、慢性金欠病で行けそうにない。  
依って、待って、テレビで見ようかなと・・・・・・・・。

世間は、特にマスコミって、宮崎氏一辺倒で、高畑氏はおまけな扱い。  
なんかむかつく。  
確かに、高畑氏の作品は、お金出して見に行った記憶がないけどね。  
テレビでは、名前はよく見てたよ。

自分も、アニメの世界はそれ程よくは知らないけど、  
知りもしね～記者が、名の売れた人中心目線で書く記事って、  
なんだか、とっても、不愉快だな。

★11月5日

日本人の癖に、神様さまにお願いする癖に、  
おまけに元日早々、神社参る癖に。  
神様のことなんて、何も知らない。  
日本の発祥すら知っちゃいない。  
日本人としては、これではいかん。  
その癖、希臘神話や旧約聖書は、読んだり、見たり、聞いたりしているっていうのに。  
日本人として、恥ずかしくないかい？

そんな訳で、日本書紀を読もうと思った。  
が、そこは、ほれ、かえる脳。  
理解できる訳がない。  
取敢えず、人が解説してくれたものを読むことにした。  
が、そこは、ほれ、かえる脳。  
神様の名前が覚えられない。  
読んだ先から、忘れて行くといった感じで。  
・・・・・・・・。

★11月4日

実は、わし、今、  
「日本書紀を読んで古事記神話を笑う 改訂新版」 by 天語人氏  
読んでます。

★11月1日

昨日、4回目配信した。

最近では、お客さんの足も少なくなった。

ああ、埋もれるんだなと思ってみたり。

だから、ぽつりぽつりと来てくれる人って、どうしてだろうと思ってしまう。

大体、自分の作品って、どの人達に読まれているのだろうか？

一番興味があるのはそこである。

一体、どんな人が読んでくれているのだろう。

全く持って、「奇特なお方」に違いない。

さもなくば、よっぽど「付き合いのいいやつ」。

冷やかしか、付き合いではなく、本当に読んでくれているのなら、

そうした人達に応えたい。

いいや、伝えたい。

そして、一緒に考えてもらえたなら。

そんな文章が書けたなら、のはなしだが。

★10月31日

自業自得だ。

神様は見放さないと言うが、  
こんなチャタポランなアタイでも？

自ら助く者を助くって、  
どうしたらいいのだ？

求めなさい、そうすれば求まりますって、  
何を求めればいいの？  
求めているのが、とんだストコドッコイということか？

★10月30日

絶体絶命。

泣いても、騒いでも、  
叫んだところで、 どうにもならない。  
嗚呼、そうだ どうにもならない。

誰か、見つけてよ！  
誰か、助けてよ！  
叫んだところで、届かない。  
そう 誰にも 響かない。

誰か、この手を掴んで！  
誰か、ここから引き揚げて！  
伸ばして見ても、掴めない。  
そう 誰も 引き上げてくれやしない。

どうしていいのかさえ 分らない。  
ただ、じたばたと、  
ただ、あがきながら、  
死んでいくだけ。  
長い時間を かけながら。

★10月29日

魔女の宅急便には、生ものは頼まない方が良い。

特に夏はね。

常に常温だもん。

そんな訳で、かえる姫に登場の「山猫」を「雪豹」に書き換えて見た。

シベリアには猫科の猛獣が色々いるけど、それを称して何て言うの？

取敢えず、「山猫」として登場させたが、山じゃないしね。

プーチンvs雪豹の雪豹が、余りにかわゆく、且つ、気の毒で……………。

と言う訳で、雪豹に書き換えることにした。

★10月28日

今日は取り急ぎ、『かえる姫』に、お后様を登場させてみた。

お客さんの足も途絶えて、今更だけど。

以前から気にはかけていたのだが、修正するのがめんどいので、

そのまま、お后様はいないことにして放置しとったのだ。

しかし、死んだという話もなく、アンポン息子が死にそうになってさえ登場しないのは余りにも不自然。

といわけで、修正することにした。

ついでに、そのたもろもろをば。

明日、見直ししてみる。

★10月27日

今日は、変な記事を見つけた。

ロマの子が誘拐疑惑かけられたとか。

金髪、青い目、白い肌。

てっきり、誘拐された子供だと警察が保護したところ、DNA鑑定で実子と判明。

ロマと言ってもピンとこないが、所謂「ジプシー」。

ジプシーと言えば、黒髪、黒い瞳、褐色の肌。

自分も、嘗て、ロマらしき人々を見たことがある。

直ぐ分った。

周りとは明らかにオーラが違っていた。

怖かった。

何をされたとか、何かをしでかしたとか言うのではなく、

明らかに周りとは違う服装や雰囲気。

しかも、固まって行動しているので。

この漠然とした恐怖心が、集団心理の中で、偏見や差別に発展して行くのだな感じた。

その一方で、どことなく、逃れ難い魅力もある。

ロマの音楽が、芸術家達に影響を与えたように。

★10月25日

何か頭痛。

この前、やなニュースを見た。

シリアで妊婦さんばかりが射撃されたって。

何でも、ゲームらしい。

気が狂ってるとしか言いようがない。

何で、妊婦さんばかり狙われたのか、書いてはいなかった。

どっかの国では、少年兵がお腹の中の赤ちゃんが女子か男子かかけてたな。  
本当に異常な世界だ。

そう言えば、アウシュビッツで育った子供は、といっても大人になってからのインタビューだが、

「人が死んで悲しい」と言うことが分らなかったと言っていた。

平和にあってこそ、異常と思えるのだな。

だからと言って、自分に、何ができるのだろうか？

隣の国では、また、日本の国旗を引き裂いて喜んでいる。

立証のない、ファンタジーの住人達が。

あの人達は、何時になったら現実を生きる気になれるのか。

真実を直視しちゃったら、、生きてはいられなくなるのかもね。

自分も、現実から離れて生きているのに、変わりはないか。

人のこと、言えた身分ではないな。

★10月23日

天野祐吉チさんが亡くなったとニュースがあった。

この前、報道番組に出演していて、生きてる確認したばっかなのに。

優しそうに見えて毒舌なところが好きだった。残念である。

スカPの宣伝で、天野善孝氏が出てた。

「アニメしか見ない奴はアニメをつくるな！」とか何とか言っていた。

なるほどね。

そこで、日本のアニメが、どうして世界に受けるのか、考えてみた。

以前、テレビでもやっていたが、見栄をきるとか、色々あるけど……。

宮崎氏引退で、ぴくさ～の外人が言っていた、

人を描いているて。

アメリカアニメはどうしても刺激を要求されて、より早く過激に動くよう言われるらしい。

それはそうと、以前、天逆鉾について調べたことがある。

それは、ナルト叙事詩にまで遡るのだが。

誰の著作か忘れてしまったが……。

剣を突いて、その地を収めるとしたと。

逆鉾も神話では、神様が剣を地に突きかけまわしたとかなんとかでとあったちと思う。

しかし、この話、西に行けば、デンマークだか経由して、

英国のエクスカリバーの伝説へと繋がって行く。

因みに、エクスカリバーは、ゲームや物語に於いては大人気のアイテム。

これは、とっても面白い。

エクスカリバーは、選ばれた者のみが、突き刺さった剣を抜くことができる。

突きさすか、引き抜くか。

日本の神話は、ギリシア神話が元になっているとも言われているし。

どうして、世界中の人が、日本のアニメを面白いと思うのか、

それは、各々が、自分たちの身体に流れているエッセンスを、

どこか、ちこっとでも感じるからではないだろうか。

玩具箱をひっくり返したような面白さ。それが日本だと言う。

東の果てのど詰まりな国にあってこそ、得られる感動なのかもね。

★10月22日

日に日に寒い。凍死しそうな勢い。そろそろ冬眠をば・・・・。  
今年は、随分書いたな。1作品の頁数も、増えた感じ。

日曜の日経に、今年のノーベル文学賞受賞者の記事があったな。  
加) アリス・マンロー女史の受賞により、短編小説が見直されているとあった。  
へえ〜と思って読んだ。  
別の話だが、村上氏受賞に至らない要因として、人気がありすぎるとか。  
詩よりも小説、短編よりも長編、人気よりも文学性。  
なにがどう、優越しているのか、よく分らない。  
世の中は  
何を求めているのだろうか。

また、20頁くらいの短い書きたい。  
美しい曲のような。

★10月20日

おてまみ貰った。  
めるし〜ぼくヲ。(おっさんかもしれんが。)  
今日は、従弟の家で、ウサギとカメに会った。  
うさぎは、見るからにして可愛いが、  
かめも、人懐っこくて、なかなか可愛い〜。ウヤツウヤツ。

★10月19日

だいたい、かえるに知性あんなかお。恊

★10月18日

ふっと、思った。

自分は、馬鹿だと思われてんじゃないかなってね。

自分の作品は、見下されてんじゃないかなってね。

確かに、頭はお世辞にもいいとは言えないが。

この文体は、否定されているんじゃないかなってさ。

音楽は、何を語りかけているのだろうか？

何を、語っているのだろうか？

言葉ではないものを

それなのに つまされるんだ

心に

何かを

大切なのは、何？

『自由な知性の導くままに進むがいい、  
愛しき思考の果実を全きものに育てながらも  
この気高き偉業への報酬などは求めずに。』

プーシキン：詩人にの一部

自分にとっての大切なことって何？

自問自答をする。

『君はその労作に満足できるのか。』 プーシキン：詩人にの一部

今できうる力で、作ったよ。

これ以上のものは、書けないってくらいにね。

だったら、満足なのかな？

ここは、世間的には「いえいえ、まだまだ」と謙遜するところなのですよ。

しかし、自分は、今ある力を出し切ったよ。

しかし、迷いもあるのだ。

この文体でいいの？

だれか、直してよ って、本当は、ぐらんぐらんしている。

中途半端な文章を、誰かなんとかしてよってね。

大事なことは何？

本当に、このまま突っ走っていいの？

★10月17日

書きあげた作品、日の目を見ずに、没になりそ。

人の作品みて我が作品直せ！

冥土地図の認識が間違ってるんじゃないの疑惑が浮上。

そこは、ほれ、いつものごとく、「作り話じゃないの」とごまかす。トカ。

知識にしても、言葉にしても、かなり誤認が多い。

ニホンムツカシヲ。

一応、先ずは調べてからとってりのだが、検索されない場合が多々ある。

変換においても、そうである。

何故にこうも間違ってるのか・・・・・・・・？

ホト ニホンムツカシヲ。

★10月16日

あんぱんまんの作者が亡くなった。

まだまだはりきってたし、頼もしい爺さんだと期待もしてたが、残念。

そして、イタリアで、元ナチスの爺さんが亡くなった。享年100歳だそう。

しかしこの爺さん、現生に於いては、終身刑。ローマ法王名での波紋。

死して、教会は遺体の埋葬拒否。国に至っては入国禁止。

『罪を憎んで、人を憎まず。』と言うのだが・・・キツいな。

確かに、波紋になったら、キリスト教徒ではないからね、教会は引き取らないでしょ。

ユダヤ教反組織の教会で引取りの申出をしてるそう。

どうにもやるせない話である。

★10月15日

そう言えば、朝の番組で今年はヴェルディ生誕200年って、言ってたかもね。

そんなの聞き流してたや。「へえ～」とか言いつつも。

今日、寒いので、窓を閉めようと思ったら目があつた。

黒の猫。多分、野良。

よく見かける奴だ。

面白いから、ガン見してやった。

全然、瞬きしないんだけど・・・。

結局、一度も瞬きしないで去って行った。

猫って、人のこと、何だと思ってみてるんだろうね？

★10月14日

お出かけするのに、車に乗ったら、ラジオから聞こえてきた、

『今日はまるまるヴェルディの日』。

偶然にも、垂流しのユーチューブから流れていたのが、『The Best of Verdi』。

今年は何周年だかの記念日なのかね？

⇒生誕200年だって。

それはそうと、『人々の愛を求めてはいけない』とはいえ、愛されたいんだけど？

やっぱ、読んでほしいし、閲覧数が増えてたら嬉しいな。

わかっちゃいるけどね、ってな感じ。

そんな訳で、『あとかたの旋律』だが、

実は、どうして死した母から赤子が引き出されたか理由があるのだが。  
それはいずれまた、気分次第というか、文章で表現するのは難しそう。  
自分の実力で書けるだろうか？  
と言う訳で、躊躇しているわけなのだ。

★10月13日

自分は何をしているのか、分らなくなってきた。  
人の作品を読んでいると、自分が馬鹿馬鹿しく思えてくる。  
何してるんだろう？ ってね。  
ああ 自暴自棄だ。

プーシキンの『詩人に』、読みかえしてみようと思った。  
見つけた。  
そうだ、『詩人よ、人々の愛を求めてはいけない』のだ。

そうだ、形なんてどうだっていいじゃない。  
詩であろうが、小説であろうが、韻を踏んでいまいが、語彙に貧しかろうが、(イノ?)  
自分は何を書きたいんだ？  
何を書こうとしてるんだ？  
言葉かい？  
文章かい？

人は、プーシキンを『偉大な詩人』と言う。  
プーシキンは、自分を『詩人』と言う。  
自分は、やはり、『詩人』でありたいと願う。

★10月12日

まるで、通り魔的犯行。  
コメを残すことについて考えてみた。  
『馬鹿』曝け出して、引き回しの刑にあってるようだ。  
コメを残すと言うことは、自分が何者かが知れていしまうといことで、  
つまりは、どんな作品書いているのかが分られてしまう可能性があるわけだ。  
ん？ これって売名かお・・・と思わずでもないが。  
それより何より、『ケッ!』ってなか感じで、軽くあしらわれてんじゃない？トカ。  
コメ用アカウントも必要かなとか・・・。  
じじい～は、被害妄想が豊かだからね。  
決していい方には考えないのである。

傾向として、自分はまっつぐな表現が好きみたい。  
かえる脳では、処理しきれないのであろう。  
後、お題が『猫』とか。  
特別猫が好きってわけじゃないけどね。

遂に、ネタ切れ。ってわけじゃないけど、新しネタは情熱にかける。

といわけで、温めていたやつ書くことにした。

今度は、4行で進めてみた。

.....。

アハハ1行あまっちゃう。余った一行、ハハハどうしょ？

説明がましくなるので、ここは一気に、と言うわけで今回も3行で書くことにした。

おたまじゃくしシリーズの入りが悪い。

お洒落な装いにもかかわず。

こっそりネタなので、敢て人眼に着かぬよう印象薄くが、薄すぎた？

まあ、それもよし。

★10月11日

景気づけに、プリキュアダンス、踊ってみた。  
初めての試みである。  
案の定、ついてけねえ～。色んな意味で……。

メールボックスに、おてまみ入ってってΣギョ!とした。  
何の攻撃だお……と 開けて見た。  
コメの返信であった。それも正直びびたが、ええ人でよかった。ホ!

今は、文芸を旅している。  
昨日から始めた。正直、どの本読んでいいのか、卜林に暮れている。  
ちょい見ただけの感想だが、文芸こ～な～!って こだわりの人が多い感じ。  
ちょっと気後れしちゃう。  
てなことって、文芸こ～な～!でも、コメぶっこいてみた。反撃しないでね。

そうこうしている間に、自分の作品について、  
詩からどんどん離れていってる感じ。もともと、絵本・童話って、怪しいし。  
そもそも、このカテゴ適当だから。気にとめんなや。  
あたいは、ほら、例えて言えば『なかよし学級』  
と、頑なに押し通す。ツリ。

★10月10日 その2

夜中に新作Upしてみた。  
おたまじゃくしシリーズより評判がいい。ナンデ?  
作品によって閲覧数に波があるのは、どうしてだろうか?  
これましかも忸、これクソだぜ忸、情報が漏れているのだろうか?忸。

それはそうと、『刹那』について考えて見た。  
人の作品を読んでいると、よく見かける。  
人はどういう意味で使っているのか?  
音が綺麗とか、字の格好がよいとか、総合的に、雰囲気があって美しい。  
じゃ、自分にとっての『刹那的』とは……。

正に刹那主義。  
明らかに馬鹿馬鹿しく、滑稽な乱痴気騒ぎ。とんだ茶番とも言えようか。  
それはキチガイ染みて、盲目的な熱狂信者のごとく。  
ある日、それが何の意味もなさないのに気が付くのだ。そして、虚しくな。

つまりは、享樂を貪った果ての虚しさだ。

自分の中での『刹那的』とは、常に享樂主義とが同居している。

彼らは、周りが呆れちゃうほどの人生あげての馬鹿騒ぎをやったのけたのだろうか？  
その結果、刹那的な境地に至ったのであろうか？

ともあれ、自分もこの言葉は好きだ。

社会に生きる人間の本質を突いているようで。

今日は文芸こ～な～！に行ってみた。

反省するばかり。

～賞受賞とか、xx大学とか、まず、プロフ・作品紹介の時点でびっぴた。

そこを掻きわけ、這いあがるのは、いかに無謀なことか思い知る。

それはそうと、自分は、人を書けているのだろうか？

どこで、どう、修行したらいいのだろう・・・・・・・・・・。

★10月10日 Σ緊急告知 : 新作発表だよ～ん。

と言う訳で、新作を発表することにした。

とっとと寝るつもりであったが、テレビ見てて、こんな時間に。

最後まで、読んでね。

★10月9日

もはや、頁を揃えるのは諦めた。

そもそも、エクスローラ使用は気が進まない。

反応が鈍い。途中『かな』じゃなくなることが多々あるし。

自分の思考とのタイムラグが生じて、苛々する。

この閉塞感の中では、ことさら、精神を疲労させる。

嗚呼、この閉塞感。そう、この閉塞感ね。

ちょっと前までは、巳いさまを題材とした話を書き終え、

何故だかしらないけど、妙なハイテンションに。

それに反して、特に昨日の酷い落ち込みようったら。

死んでしまうんじゃないかってくらい、へとへとで。

何て言うんだろう、そう、自己嫌悪。

なのに、どうして書くのかって？

人は何故かくのでしょうか？という質問は、愚の骨頂というものらしい。

だったら、書かなきゃいいじゃない。

いいや、書かない訳にはいかないのだよ。

それは、息するように、食べるように、

多分、これが、自分が自分としていられるってことなのかな？

この世に自分の存在価値なんてありやしねえ自分にとっちゃ、

文章を書くってことは、書く文章の中に、自分ってもの探しているんじゃないかなってね。

そんな屁理屈・・・ウツシ。

と言う訳で、近日公開予定。

思えば、連載機能、使えばいいのでは？ とそんな疑問を抱きつつ、

いまさらMDI感で、今回も、早く読みたい人は購入してね商法だす。

★10月8日

一晩、夢の中で回っていた言葉『五里霧中』。

在宅ライターについて調べて見た。

すると、SEOの仕組みにあたった。^I~。

本物の知識と文才がなくては、こうしたものに手を染めるしかないのか。。。。。

文章でお金を稼ぐと言うのは、やはり大変なことなのだな、と実感。

この波のある閲覧訪問も、やっぱり組織がツナなのかな？恊。。。。。

このサイトが廃れない為の適当ポツ、これが目的か。。。。。

自分でもたまに人様を覗きにお邪魔しているけど、

自分の行動からしたら、かなり気が向いたときの稀な行動。

上位やお勧め欄ならまだしも、いつもドベな埋没投稿者に閲覧者が来る訳ねえ。

哀しいけれど、これは企業努力、乙。

公募見てみた。

未発表に限る。

それ以前に、該当するものがない。

つくづく、世に出るのは大変なことだ。

『五里霧中』まさにそのとおり。

閉塞感には窒息しそう。

★10月7日

もはや、頁移動は諦めた。好きにしてくれ。

新作の前の、ちょっとした新シリーズが完成した。

どうにもこうにも、公開したい欲望。ツツツ。

これって、著作権とかなんじゃら、侵害してないと思うけど。

ちょっと、心配。

莫大な作者と毎日新作投稿で、じじい~の作品までは目につかんでしょ。

ということで、こっそり公開（予定）。

何時も何気に気にとめていたが、在宅ライターって何？

昔、よく聞いた、あの手かな？とか。。。。。

資料送られて、後で莫大な請求がくるってやつ？

消費税は上がるし、経済活動においてはよい協力ばかりで恩恵には預かれず。

出て行くだけで、なんとか回収したし。

と、思って、勇気を持って、興味を持つことにしたのだが、  
そうゆう時って、その広告って出てこない・・・・・・・・。

★10月6日

新シリーズのめどがついた。

新作書きあげ、公開前に、ちょっとブレイク。

遊んでみた。

こいつを、スキャンして載せてGO!なのだが、プリンターが遠い。

PC抱えて、プリンターまでいかにゃ・・・・・・・・。明日ね。

★10月5日

最近、山崎女史が亡くなられた。  
多分、文豪。

鋭く切り込み、痕を残す、攻撃的な文章書いてみたい。  
.....。

大作家は、新聞記者上がりが多い感じ。  
やはり、人を書くには、特殊な訓練が必要なのだろうか？  
思うに、頭のよさそうな大学の文学部卒とか.....。  
特別な知識が必要なのだろうか？  
独特な感性を持っているとか.....。

何一つ、かすりもしないんだけど.....  
ぺら〜んって、きてしまった。

★10月4日

遂に、巳いさまを題材にした話が終わった。  
後は公開をまつだけ。  
でも、まだ公開しなよ〜ん。

しかし、前から書いてることなのだが、閲覧数の動向が変。  
ぴたっとおさまったかと思えば、一気に（自分にとってはね）増える。  
特に、かえる姫ね。週の中盤、閲覧客が増えるんだよね。  
しかも、朝のはよから.....。  
これって、組織がッ？  
て言うか、組織ってなんなのよ？ 第一、その目的は？  
ゲロッ！ってくらい、今日はびた一人でもお客さんこないし（かえる姫ね）。  
何だ、この波は？

それに、重い。  
キツネとかチョロメとかで入ってみたが、ゴシックが使えなくて断念。ガツツイ。

★10月3日

ニホンムツカシオ。  
ちっと引っかかっていたことだが、「連れてかれた」って変な日本語。  
でも、「連れて来られた」⇒魔法使いが、連れて来た。となってしまう。

従って、「連れて行かれた」⇒殿様蛙に連れて行かれた。が正しい。

が、しかし、それでは、『アンポン王子の勘違い』に至らない。

よって、「連れていかれた」を砕けた表現にして「連れてかれた」にしてみた。

それはそうと、新作が書きあがった・ ・ ・ ・ ・ つもりであったが、手直しが必要。

書きなおして、書き足して、それから見直して、やっと最終修正、そしてすつとこ公表へ。

と、まだまだ道のりは長かった。

ってというか、今日気がついたが、カエルが巳いさまのお話書いてるや！ と。

★10月2日

旅行がまた中止になった。ガッツイ。

これはもう、縁がないんじゃないのと言わんばかりの勢い。

今、製作中の話、書き終えたら行けんじゃないかと、験担ぎしてたけど、それだったら、充分間に合う日程だったんだけどね。

確かに、早く書けやポケッ！ とばかりのやる気の無さ。

どう言う訳だか、乗らない。

話は既に頭の中で出来上がってはいるのに。

だからかの～？

何時でも書き終えるぜえ、という驕りか・・・。

そんな訳で、1か月また延びて、果たして、本当に行けることやら？

心入れ替えて執筆活動専念致します、宣言。・・・シテカ。

★10月1日

ハンガリー狂想曲2を久しぶりに聞いてみた。

デジタル脳な判で押した書きこみは、神経を消耗させる。

ユーチューブでよく目にする、『Tom & Jerry』。

だったら、6 でいいから、もう・・・。

一昨日あたりから、なんだか、ピグモン気分でハイだぜえ。

松屋のおもちゃ売場ではしゃぐように、人の言葉に戯れて。

おっと、ガラモン発見。

似てるけれども、仲間じゃないよ。そいつとあ全然違うのよ。

説明しよう！

ガラモンとは、ウルトラ怪獣が作り出したロボットで、人を混乱させるのがお仕事である。

血なんて通ってない、惑わすことがお仕事なのである。

そして、ウルトラ怪獣は、人を攪乱させて、高みの見学。

はしゃいで、遊んで、暴れて、疲れて、眠って・・・、

目が覚めた。

・・・、

そうだ、あたい、カエルだった！

★9月30日

ピグモン位の知能がいいな。  
欲もなく、得もなく、ただ無邪気で。  
死ぬ時も、あっけなく。

それはそうと、この前、大手新聞会社の記事を暇だれて読んでいた。  
近衛文麿氏に関する記事である。  
その中に、オスカー・ワイルドなる文字を発見した。  
社会主義についての著書を、文麿さんが読んだとかソツが・・・。

オスカー・ワイルドって、いろんなもん書いてるのね。  
数本しか読んだこと無いけど、有名どころでは「幸せの王子」でしょ。  
だけど、自分は「サロメ」が断然好き。  
今迄読んだ本の中でも、断トツのお気に入りだ。

しかし、サロメは、評判悪の悪女扱い。  
何故だろう？ 自分としては、サロメは好きなのに。  
それこそ、破滅的な最後を迎えるよ。  
彼女の何がいけないの？

サロメを演じる上で、一番、女優達が拘るのが『処女性』である。  
それって、なんなんだろう？  
多くの人が、サロメを淫売とか売女とか蔑んだ目で見ているけど。  
何を根拠としているのだろう？ ちゃんと本を読んでもの？  
洗礼者ヨハネの首を請うたから？

サロメは、少女達が救いを求めるように、  
ヨハネに救いを求めたのではないのか？  
相手がたまたま悪かった。  
これが、白馬にまたがる王子様だったら？  
きっと、おとつあんの仇で、サロメを手籠めにせんとしているおっさんの魔の手から、  
救い出してくれるに違いない。  
そして、おとつあんの仇も討って、晴れて二人は、ハッピーエンドとなる訳だが・・・・

。   
だいたい、ヨハネもヨハネで、いい年こいたおっさんが、  
10代の女の子に、あの言いようはないよね。

彼女の境遇からして、自力で何をどうできると言うの？

そもそも、そこは戯曲であって、聖書には一切書かれていないこと。

聖書に書かれていることを、文字通りとれば、この母にしてこの子あり。

だったら、救いようのない阿婆擦れでしょ。

戯曲『サロメ』のサロメは、破滅的な愛に走ったけど、永遠の愛は手に入れたの？

サロメは、永遠の罪を負うこととなったけど、

最後に射抜かれたことで、サロメは救われたのでは？

愛はどうだか知らないけど、サロメは、最後の最後に、幸せを手に入れたでは・・・と。

★9月29日 今日肉の日・・・。

そうか、今日は肉の日であった。ツリ。

何が一番受け入れ難いかって、選民思想とでも言おうか。

欧米文化の受け入れ難いところは、『傲慢』なところ。

そもそも、牛は人の食べ物って、誰が決めたの？

牛は神様の使いで、畑を耕す大切な労働力で、磨が移動する重要な足であるわけで。ツリガッ！

世界は、自分らだけものじゃないし、自分たちの価値が必ずしも正しい訳じゃないぞ！

米国の映画は好きじゃない。

エンターテインメントを追及して、どひゃ、がはっ、ばきゅん、はらはらぢきどき、ド派手で楽しいけど、

ふっと冷静になると、虫けらのように死んで行くその他大勢達。

自分は何時だってその他大勢。ヒーローになんてなるわけないじゃない。

ウルトラマンも、ウルトラ怪獣を応援しちゃう。

どの役したい？となったら、ピグモンかな。

間抜けな感じがいい感じ。

地球征服なんて、関係ないところで生きて行きたいね。

人畜無害でさ。 ひっそり暮らしたい。

でも、殺されちゃうけど。

★9月28日

今日、高速に乗った。高速バスで。

家畜輸送車、一台、追い越した。

昔、高速に乗ると、家畜輸送をよく見かけたものだが、

あまり会いたくないね。

しかも、バスだけに車体が高く、目線があっちまう。

なんか、かなしいな～。

どな・どな・ど～な ♪ と 音楽が頭の中でかかっちゃう。

可哀そう・・・・・・・・・・。

でも、食べるんだよね。

だから、美味しく頂くよ。成仏してね。

それはさておき、このドナ・ドナだが、以前調べたことがある。

ロシア民謡として紹介され、日本では童謡として、日本のよい子のみんなには御馴染の曲。

しかし、原本は、我々のイメージする曲とは別物だった。

詩の作者は、ドイツだったかな？のホロコーストに収容されたユダヤ人で、  
原本は、イディッシュ語だったかなんかで書かれたものであった。  
内容は、恨みつらみの怨念がこもった詩で、ユダヤ人達を牛になぞって書かれたものであった

。日本人の感覚では受け入れ難いものであった。（自分だけ？）  
何故なら、日本では牛をしばき倒すってことあんましないんじゃないの？と。  
原本がなんじゃらんじゃらで、米国に渡って、米国で曲が付けられ歌になったとき。  
なんでロシア民謡？　そこが今いちょうわからん。  
そして、日本で童謡としてちびっこ達に歌われるようになったのだそ～な。

多分、恨み節のままでは、日本でこれほどまでに普及しなかってであろうね。  
歌詞は変わってしまったけど、哀愁めいた悲しさは、なくなってなんかいやしないし。  
日本の曲では、この牛への愛情を感じるけど。  
しばかれ倒されてた牛は、遠い異国の地では、愛されてんだよ。  
何か、不思議。

食べるときは、手を合わせ、「いただきます」　- 人 -

★9月27日

『コメントの旅』って、ストーカみたい。ホッ。  
追跡、追跡でさっ。

自分の作品を振り返って読んでみた。  
自分には、あんな詩は書けないや。  
毒吐くカエルが囁くんだ。  
ちゃんと自覚があるんだ。  
自分には、備わるべき人間のある情緒が欠如していることを。  
毒吐くカエルが囁くんだ。  
そいつはとっても意地が悪い。  
待ってる少女達に、耳良い言葉を囁かない。  
そっと見守ってやることすらしてやらない。  
だって、あたいは、所詮、カエルだもん。  
人間にあるべき情緒がなくって当然。

『文豪への道』を 読み返してみた。  
こんなご気楽なやつ。  
どんだけ天津井。  
人一倍、世界中の誰よりも傷ついているのに、伝わらない。  
てなこと並びたててみちゃったり、ホトはそんな感性が好きだったりする。

遡りをしているうちに、忘れてた・・・・・・・・。  
見つけたよ。  
『破滅は、永遠の幸福への約束』  
そうだったね。

チャイコフスキの最後は笑っちゃう。  
悲しいくらいに。  
芸術家は、滑稽だ。

して、チャイコフスキは、今、永遠の幸福を手に入れたの？  
チャイコフスキの芸術は、今も、生きているけど。

★9月26日

『コメントの旅』 次、行ってみた。  
がつつん、がつつんカキコしちゃってるけど、大丈夫？

仕返ししないでね。（悪意でカキコしてないよ・・・）

最悪だな。

相変わらず、頁の移動、定着しないや。行行。

★9月25日

『コメントの旅』が事切れた。  
仕方がね、次。

そんな訳で、ポーカロイドを考えて見た。  
少女達は、何を求めているのだろうか？ 卍・・・・。

日常の打破。  
束縛からの解放。

特別にはなれない自分に、特別なことがおこって、選ばれた人となる。  
それが、破滅。

しかし、本当に求めているのは・・・『救い』だ。  
詰まらない日常からの救出。  
束縛しているのは、実は、自分自身。

少女達は知っている。  
嫌というほど、知っている。  
自分は特別ではないことを。  
待っていても、救いはこないってことを。

その先を、踏み出せたなら。  
少女達は、何を思うだろう？

例えば、破滅の先は？  
破壊して崩壊して破滅して、その先は？  
少女達は、何を見るのだろうか？

★9月24日

ちょっと指向を変えて見た。  
修行は、辛いだけでは長続きしない。  
と言う訳で、『コメントで繋ぐ旅』をすることにした。  
コメントを残すと言うことは、心揺さぶる何かがあるわけで、  
自分も、それが何かを体験して見たい。と、思ったが。

意外と、世間の人って真面目なのだな。

反省するわい。 改めないけど。

かなり崩壊してるよな～自分。 変える気ないけど。

だからって、ふまじめにやってるわけじゃないし。

つくづく、仕損品な自分、って思い知らされるよ。

★9月23日

横着しようと思ったけど、世の中そんなに甘くない。  
地道にやるしないのだね。

マンネリは、思考を低下させる。  
という訳で、新しい楽しみ方を考案してみた。  
刺激を求めて、ジャンル『詩』検索GO!  
で、検索された作品を頭から読んで見ることにした。  
今日は、その1日目。  
・・・・・・・・・・。  
うかつであった。  
これは偵察？ それとも社会見学？ いやはや苦行・・・・でしょ？

首位に位置付けているということは、やはりそれなりの理由があるのでしょうか。  
ぐうぐうぐうぐう。  
じじい～の感性ではフット。 情緒欠乏症・・・・。  
それって 『詩』 ってか・・・・？  
おいおい、自分のことは棚上げかい、と軽く突っ込みガス抜きガス抜き。  
そんな中、あっこれこれと面白い作品もありし、ホト一息。  
それはそれ これはこれで けっこう楽しいよ。

★9月22日

宴会の出し物に、と考えて見た。  
製作中の作品、ほっぼいて、直ぐできると思ったら、とんだ誤算が。  
そんなこんなで、四苦八苦。

아이폰が発売されたけど、遂にdocom\*からって、  
遂に、そこまで来たか・・・・ってことなんだろうかね？

流行の法則に従えば、この流行もいよいよ終盤。（日本において）  
一般化した時点で、先行は次のターゲット狙ってるでしょ。  
保守的層のdocomo信者なじじいばばあ達が、 아이폰と格闘するんだな。  
壮絶な絵柄だ。ガンバレ！

自分は、スマホ、持つ気ないんで、高みの見物だ。

★9月21日

結局、何のこってか、ページの移動が上手くいかない。ムツク。  
血、抜かれて、血足りんで行ってんのに、しかも、金欠。  
貧乏ったれの老いぼれじじいの戯言と、改善しないのか？トカ・・・。  
兎角、年寄りにはひがみっぽくっていけねえ・・・・・・・・。

それにしても、TOPの『あなたへのおすすめの本』ってあるけど、  
『これ読んで出直してこいやっ！』ってことで、  
わざわざ自分の為に、選抜してくれたのかのう？  
どんな基準で、選んでくれたのかのう？

★9月19日 Σ今日は九州の名月！？

まあ、そんな訳で、中秋の名月を、ずっと、九州の名月と思ってたわけで・・・、大きくなったら、秋には九州に名月見に行くのだ！と目論んでいた。

そうこうした中、かぐや姫の\*宣伝が活発化してきた。

遅れに遅れて、11月23日だと言う。

罪って、窃盗でしょ？

某未明、女が不老不死の秘薬を盗んで月に逃げ込んだ、って記事読んだことあるよ。

月の厳しい環境に耐えきれず、蟄蛙になったとかなんとか・・・で。

別の事件でしょか？

そう言えば、ジャミラ事件というのがあったな。

地球人が事故でどっかの星に不時着して、変貌しちまうという悲しい事件があったな。

他の星で暮らすとなると、地球人は、やはり、このままの形ではいられないのだろうか？

中国人の火星移住計画は有名だが、移住後はどう順応化していくのだろうか？

そんなこんなで、どんな犯罪やらかしたのか、かぐや姫の\*は見て見たい。

今晚は、中秋の名月でもながめてみましょうか。

★9月17日

秋が物悲しいのは

去ってしまった 猛烈な太陽を

呼び戻そうとするからかな？

今日も暇だれて TOPをクリックGO！

どえらい人を見つけた。沢山の賞をもらった人だ。

正直、うらまやしい。

自分は、何一つとして、『賞』というものを取ったことがない。

小さい頃から、『特別』であることなどなかった。

何時も、その他大勢。

日の当る子と、生涯日蔭の者と、何が違うのか？

多分、大きく違うのだろう。

嘗て、思い切って応募とやらして見たこともあるけど、

もののみごとに、大外れ。ひっかかったことすらありやしない。

思い返せば、そりゃ当り前。

子供用読みもの公募であるのに、こんな感じでの的外れ。  
まあ、的が当たったとしても、文章が何だ、難だからね。  
そんなわけで、良いか悪いかの評価以前に問題ありと。  
だから、応募はしないことにした。

自分は何を書きたいのだろう？ と自問自答して見た。  
嗚呼、なんてナンセンス！  
きっと、人は笑っちゃう。  
自分が書こうとしているのは、文章ではないのだからね。

★9月16日 今日は何の日。

完全台風で予定丸潰れ。

俄然、やる気なしで、ガツツイ。

今日は何の日。

・・・・・・・・ほったらかしかあ～？

まあ いいけど。

★9月15日

台風のせいで、予定がお流れになってしまった。何か、気が抜けた。

仕方がないので、今、書きかけ書こうかで書こうかな、と。

お客さんの足もそろそろ途絶えたかな？と、なんじゃ、寂しく思いつつも、

ちらほら、足を運んでいただいている。

やる気のない自分にとっては、有難いことだ。

数人ではあるが、読みにきてくれている。

それにしても、不思議なことだ。

ずっと前に公開した作品であっても、読んでくれる人がいる。

新作を見て、他の作品は？と、興味を持ってくれたのであろうか？

はたまた、妙に気に入ってくれたリピーターさんか？

案外、内輪だったりして・・・・・・・・ガツツイ。

パブ～の不手際による自分がッぽつだったら笑うな。

何にしても、目を通して、興味を持ってくれているのであったら、嬉しいな。

★9月14日

NASAで、蛙が打ち上げられた。

今日、日本では、イプシロンが打ち上げられる。

あたいの打ち上げは、何時の日か・・・・・・・・？

それにしても、イプシロンの打ち上げが成功してよかった。

が、台風のおかげで、予定が中止になった。

今日の占いでは、よい知らせがあるはずだったのに・・・・・・・・。

★9月12日

あじい・・・・・・・・。

今日、帰りにちょこっと百貨店によった。

何気にデパ地下ぶらり。

そしたら、乾燥無花果が目に入った。

おっちゃんが、なんか呑みものくれて、乾燥果物をくれた。

いやいや、あたしゃ無花果が・・・・・・・・。

そんなわけで、どこ産？と産地を尋ねたところ、

「イランさ」

『・・・・・・・・国産じゃないんだ。』と心でボリリ。

「イランはいらんか？」

「・・・・・・・・」

というわけで、イラン製乾燥無花果を買ってきた。

日本の無花果は、水分が多すぎて乾燥には適さないのだとか。

乾燥ものは、殆ど、イランかトルコ、アメリカとのこと。

帰ってから、暫く経って、ふっと思い出した。

『無花果の葉がかさかさ・・・・・・・・』

ああ そうであったな・・・・・・・・無花果は、ペルシャから渡ってきたんだっただけかな？

忘れてた。勿論、偶然だろうけど、忘れてた。

トルコ産か、イラン産か、それともやめるか、迷ったけど、イラン産かってきてよかった。

帰って、つまみ食いしてみた。

・・・・・・・・。

美味しいものではないよね。

★9月11日

どうして秋って、物悲しいのか・・・・・・・・。

じじい~になれば分るよ。

どうして秋って、物悲しいのかを。

残された命、生き焦る。

目標もないまま、有無を言わず、進むのみ。

過ぎ去りしものは、かえってきてはくれないのだと、思い知る。

★9月10日

『書けないカエルは、ただの蛙』 かあ～？  
けるける ♪～

何か書く気がしない。

公開済みについても、修正が進まん。

そんな感じの今日この頃。

★9月8日 Σ次は、めざせケロリンピック日本誘致！！

朝っぱから、テレビをつけたら東京五輪決定のにゅ～す！が。

おかげで、『題名のない～』がとんでしもたじゃないの。

何はともかく取敢えず、東京に決まっておめでとう。

そんなわけか、どんなわけか、何だかやる気が出ない。

既に構想は練り上げられておるのだが、書く気がしない。

そんな手持ちぶたさな今日この頃、暇だれトップ画面をクリックGO！

．．．．．。

ヤラめ的なあ？

あたかも、実は、歴史書的な、そんなもん書きたいと狙っておったのだが。

縦書き機能が出た暁には、早速かくべし、と画策しておったのだが。

先を越された感じもしないでもないので、ここは一先ず、リサーチ。

．．．．．。

だあ～！！ なんじゃこりや～！！

余りの活字の多さに、脱落。

結論 ⇒人は人。自分は自分。

ということで、勘弁してくれや。

★9月7日

以前、ボーカロイドについて検索したが、更に考えて見た。  
どうして少女達は破壊的な思考へと向かうのか？  
簡単に、少女はそういうものだと言ってしまうが・・・何故？

自分が思うには、『日常の打破』とでもいようか？  
詰まらない毎日に、何か変化を起こすとしたら？  
一夜明けたらスターだなんて、ちょ～かわいいか、ちょ～天才か、  
特殊な能力がなくてはならない。  
ことを成すには、時間がかかる、絶えまない労力がある。  
少女達には、時間がない。  
毎日の日常で疲れ果てて、そんな労力払えない。  
今すぐ、突発的な変化が欲しいのよっ！

一番、お手軽な日常の変化って？  
破壊だっ！  
しかし、ものを壊せば、器物損害。  
人を傷付ければ、傷害。  
それじゃ、ただのアバズレじゃん。  
じゃ、自分。破滅的な自分って、なんか悲劇的。  
周りの同情も得られるしね。  
と、そんな感じかなあ？ と考えて見た。

★9月6日

今日、宮崎氏が引退宣言をした。長編映画の製作のね。  
それって、何だか気になる。意味深な余韻を残して・・・。  
・・・そもそも、長編引退宣言する必要ってあるの？  
まあ、人はそれぞれ。  
後の余生は、やりたいことをやるのだとかで、だったら・・・  
『ぱらぱら漫画で世界制覇』とか、個人的には願ってしまう。

人のことはこれくらいにして・・・。  
さて、新作（長らくほっぽとったやつ）、今日、思い切って公開して見た。  
意外なことに、お客さんの入りがよい。  
前作の閲覧数を、公開日初日で既に追い抜く勢い。  
嬉しいけど、ガッソ。

やっぱ、作家の労力と、読者の好みは必ずしも一致しないのだな。  
当然といえば、当然なのだが、大体そんな気がしてたし。  
前作は、かなりこだわりすぎ。  
でも、いいのだ。書きたかったのだから。

今回の新作に関しても、完成できて、まずはホッとしている。  
話は既にできあがってはいたのだけどね。  
つつい、後回しにしてしまった。  
そして今は、このまま、最後まで、読んでもらえたらな、と。

★9月5日

Σ告知！：明日金曜日 新作公開予定。

新作と言っても、結構前に書いたもので、途中ほっておいたもんだけど。

バブーから、不備の返信が来た。やっときた。

どうせ、クソみたいな利用者だから、どうでもいいのかと思ったが、調査してくれてたんだ。アリガトネ。

ブラウザが悪かったらしいとのこと。

エクスローラは、使えなくなることが多いので、キツネを使用していたのだ。

キツネからエクスローラに変更したら、ゴシックが使えるようになった。

が、しか〜っ！ 頁の移動がまだできてないんだけど？

★9月3日

今日、自分の頁から追い出された。

本を開いたら、ログオフ状態に。戻ったら、閲覧数が1人増えていた。

自作自演じゃないよ。バブーの不備でしょ。

これが、何回か起こった。

．．．．．おしよきか？

苦情のメールを送った腹いせか？

それはそれとして、昨日コメントした人の他のコメントだが．．．．．。

媚びてない感じがいいですね的な文章があった。

それって、どういうことなんだろうか？

じゃ、媚びた文章ってどんなのさ？

自分の文章は、人にはどう映るのだろうか？

難しい？

よく言えば、そうかもしれない。が、つまりは、『なんじゃこれ？』な感じかな。

それに、読みづらいかもしいない。

自分が、長い文章が苦手なように。

もしも、自分が、他の人のように文章を書けたとしたら、どんな文章を書くだろう？

恐らくは、だらだらとして取り留めがなく、もっと意味不明になるかも。

自分に制限を課すことは、不便も確かには言えない。

字数に制限があるので、言葉を選ばなければならない。

行数にも制限があるので、書きたい事も制限される。

どれを優先して、どれを捨てようかと。

自由に、だらだら書けたならな、と思わないでもないけど。

おかげで、言葉の重みを感じることができた。

自分は、これでいいと思っている。

日本の美とは、無駄なものを削ぎ落としたものだから。

だから、これでいいのだ、と自分に言い聞かせている。

まずは、「芯を持つこと」からだ。

★9月2日

残暑でざんす。 このままでは、何の思い出もなく、夏が終わってしまう。

と言う訳で、ひと夏の体験 をしてみた。

その1 バブーに、「頁移動できないじゃないの」「ゴシック使えんじゃないの」  
と、がっかり苦情のメールを送ってやった。

その2 知らない人に、コメントぶっこいたった。

びっぴたか！ 仕返ししないでね。

それから、今後の予定。

その1 かえる姫の戦闘シーンが貧祖。

もっちとスペクタクルな場面を加えてみては と思っている。

その2 近日新作公開するよ。

★9月1日

だぁ～ げほげほ。。。 嫌煙じじい～の憂鬱。

朝から 今日も くそあじい。

窓を開ければ 朝っぱから 清々しくない 煙草の煙。

のどがいでえ～。煙草も吸わんのに 家中煙充滿。

多分 自分が肺がんだったとて 『喫煙との因果関係はないよ』ポイントを上げるだけ。

24時間、365日、何年にも渡り 辛い 被害数倍返しの間接喫煙。

まじで 肺がぐるじい～。た～しけ～てくりえ～！！

家族を守って近所をくじく。 救急車呼んで担がれちゃいましょかな勢い。

そんなわけで たまに人の作品を読んで見た。

・・・・・・・・・・。

3行超えの長文 相変わらず きつい。

それでも がんばって読んで見た。

読むのが必死で 内容までは及ばない。

思えば PC画面でしかみたこたないけど 実際 世間様には どう見えているのか？

自分の理想は 1文が 画面に収まりきること。

ちゃんと 見えてるのかしらん？

ネットは あのスクロールが邪魔くさい。

一目で文章が入るくらいが いい感じ。

やっぱ あたい ヴィジュアル系。  
内容よりも ヴィジュアル重視。  
それじゃ～だめじゃん。春風亭 けろ太。

★8月31日

ページの移動が またきかなくなった。  
なんだこれ？ 苛々するな。  
明らかに、以前より使いづらい。まだ、ゴシック使えないし。  
カーソルの動きが変だし。

蛙・カエル検索だが、毎度のこの自分作品順位って、何？  
どうも閲覧総数でもないし、売上高でもないし。  
ブックログ独自の評価だってけど、世は、これが客観的作品の評価か？  
なんか、ガツシィ。

と、しおらしく言ってみたものの、誰が大人しく引き下がるか。  
一々、世間様気にしていたら、やってらんねえ～。

そう言えば、解消されたことと言えば、  
自分ポッチができなくなったことじゃない。

★8月30日

ぶっくりにゆ～す！

『井の中のかえる』が、ちょっとしたブームに。

長らくほっとかかれていたのに、俄かに閲覧数を伸ばしているとは、何事？  
むふふ、とほくそ笑んでみた。

余裕な暇だれで トップをクリック。

・・・・・・・・・・。

お勧め欄に、よく似たタイトル。しかも 同じ表紙じゃないの。  
誤認かよ・・・・・・・・と ガック。

取敢えず、読んで見た。

Σなにゆ～！

蛙で悪いかあ！ カエルでっ！！

ついでに、蛙・カエル検索を試してみた。

あたいの作品たら、断トツに、ドベじゃないの。

っていうか、マイペースすぎ。

我が道いき過ぎ、我儘過ぎ。

そんな、残暑の残念な、今日この頃。。。。。。。

追申：これもまた残念なるや、ゴシックがまだ使えない。

★8月28日

イプシロンは残念であった。

次に期待しよう！

今、昔の話を書いているのだが、これがまた面倒くさい。

時代背景を調べるのとか、どんな名称とか、

はたまた、武士語とか・・・・・・・・。

無理っす。

★8月27日

未だ、ゴシック体が使えない。

デザイン変更っていったけど、こんなんだったらかえって迷惑。  
且つ、以前、縦書き対応する予定ってあったけど、それまだ？  
縦書きで書きたいものあるんだけど。

縦書き対応になったら、以前から計画していた叙述詩的なものを書きたい。  
勿論、架空の歴史書だけど。

★8月26日

新システムの弊害は、ルビだけじゃないけど？  
頁が頭に移動しない。且つ、いまだ、ゴシックきかない。  
と思ったら、頁の移動に成功していた。

そんなわけで 明日 イプシロンが発射される。  
うまくいくといいね。

直木賞作品 取敢えず 検索してみた。  
審査員の批評が凄い。  
作品自体、未だ読んでないけど、批評だけでびっびた。  
何か 自分とは世界が違うって言うか、  
まだまだ 何処にも達してない感じ。  
そもそも、人の本読んで、流れがどうの、技術がどうの、いいのけることが凄い。  
なんだそれ？  
それって どうゆうこと？  
まずは そこから。  
つまりは、スタート地点すら、何処にあるのか分からない、ということ。

★8月25日

なんじゃこりあ～。

相変わらず 頁移動ができない 且つ、ゴシック体も。

そんな中、どんだけスト～カ～だよ事件。

ちょこちょこと直して、閲覧数見たら、途端、一人増えてた。

試しに、他のものでもやってきみた。

そしたら、閲覧数が一人増えた。

こいつ、ストーカーかよ どんだけマークしてんのさ と、他の頁も開けてみた。

そしたら、また、閲覧数が一人増えていた。

・・・・・・・・・・自分かよ。

確か、自分は閲覧数にカウントされないって、どっかに書いていたと思ったけど？

これなら、毎日ポツできるじゃないの？

端数合わせにはよいな。

★8月24日

やれやれ。。。。

シューベルト即興曲90-3が 解決した。

サラ・ブライトマンのアヴェ・マリアのサビの部分であった。ヤレヤレ。

誰が作曲したのか知らんが デュエット曲だ。

クリスマス時期には よく聞くDCで 気分のいい曲だ。

★8月23日

記憶の取り違えであろうか？

シューベルトの即興曲90-3だが 歌詞付きで聞いたことがある。

検索したけど そんな曲ないんだけど・・・・・・・・。

明日 CD探してみる。

前から気になっていたことなのだが・・・・・・・・。

ホント どうでもいいこと

仮面ライター 2作目書かないの？

大きなお世話でしょうけど

あれだけ世間を騒がした2000万の才能だ 2作目がないのは 残念。

文壇界の損失じゃないの？ 読んでないけど。

兎角 新しいシステムは 手際が悪い。

必ず 不手際が生じる。

こんなだったら 別に そのままでもよかったですけどね。

★8月22日

今日バブーで、工事があった。

そのせいであろうか？ フォントが変。

ゴシックがきかない・・・・・・・・。

且つ、頁の入れ替えできなくなったけど？

★8月21日

なんにしても 才能のある人は 羨ましい。  
いろんな人が弾くピアノのを聞いたけど それぞれで 面白い。  
中には ん? って言う人もいるけど  
あんなにも手って動くんだ と 見とれつばかりだ。  
それにも増して 作曲家の才能には ただただ羨望。  
人の想像力も創作力も 出尽くしてるのではないだろうかとさえ思う。  
更に新しいも 全く違うものって ありうるのだろうかとさえ。  
しかし 天才は生み出すのであろう。

音楽にしても 絵にしても 文学にしても  
今の時代 次の世代もその次の世代にも 引き継ぐものってあるのだろうか?  
残るよりも 消費されて行くものの方が 遥かに多い。  
半年毎に芥川賞と直木賞作家が生れるけど 作品は 時代を超えて残るのだろうか?  
自分は 殆ど読んだことがないけど。  
そもそも本なんて 最近 殆ど読んでないな。  
そんなんだもの 溢れ出る本の中から どれを選ぶかなんて 選びようがない。  
決められた時間の中で 読むとしたら 文豪と呼ばれた人達の本を読むのが合理的だ。

★8月20日

『慰め』が捨てきれず、最後を付け足した。  
そして、おまけを書きなおした。

それにしても、内戦に関する記述がしょぼい感じが否めない。

★8月18日

ああ～ 今日もくそあじい。

もう一度考えてみた。どんな曲がいいかを。  
自分のライバルと思い、支えにしてきた人へ、最後に送るとしたら・・・・・・?

最初は、静かに送る曲をと思った。  
挫折した人生から解放され、やっと平穩を手に入れたようなしめやかな曲をと。  
個人的な嗜好で、ラヴェルの亡き王女のなんちゃらってのがいいと。  
しかし、どうも物語上、悪くはなけど、最適とは思えない。

ショパンとくれば、リストでしょ?

やっぱり、そうだね？ 個人的な思い込みかもしれないけど。  
ショパンの曲に対しては、リストの曲で応えたい。

じゃ、リストのピアノ曲で、美しい曲を……と。

『愛の夢3』とか『慰め』は、綺麗かとも思いつつ、恋人だったらね。  
自分の場合は、リストとくれば、真っ先に『ラ・カンパレツラ』を思い出す。  
ピアノの腕前を披露するのにも、うってつけかとも思ったけど……  
主人公の人生を投影した場合、痛い感じがする。

迷いに迷い、最終的には別の曲にした。

もっと色々な曲を知っていれば、また別の選択をしたかもしれないけど。  
この曲は、兎に角かっちょいいし、聞きごたえも、弾きごたえも文句ない。  
青年時代の共有する思いがあればこそ、躍動的な曲を選択してみた。

★8月16日

イスラエル高官が、「原爆追悼、うんざり」とSNSに書き込み。

彼曰く、原爆は日本の侵略が招いた結果だと言う。

はあ？

なんでそんなこと言われなきゃなんないの？

だったら欠席したらいいんじゃない？

日本人による広島・長崎犠牲者の為の国民の行事なんだから。と思う。

おまけに、中国まで凶に乗り便乗する始末。

まじで、うざい。

原爆の犠牲になったのは、日本人だけじゃないけど？

本当に、日本人ってだけで、死者に鞭打ちすることよくできるよね。

これって、完全、民族差別だと思う。

★8月15日 68回目の終戦記念日。

今日は特番で、時代劇の最終回が飛んだあ～。

近隣諸国、と言ってもあの国々ですが、心底辟易。

多分 本当は そんなこと公言しちゃいけないんでしょうけど。

余りのしつこさに、反省通り越して、憎しみすら湧いてくる。

これは、日本のマスコミも、加担してるのではないか？

どうして、他国の国民感情まで支配しようとするのだろう？

戦犯は、死をもって裁かれても、尚、罪人として蔑まれなければならいらしいし。

きっと、日本人全員が絶滅しなければ、罪は許されないのだろう。

被害意識も、ノンフィクション化している感が否めない。

自分が昔読んだ従軍慰安婦がえりの手記も、中身が違ってきているし。

今となっては、ますます政治の道具だ。

狂気じみた反日には、心底恐怖を覚える。

こんな状態は、誰が得をしているのだろうか？

本当に、気違いじみていて、ただただ、おぞましい。

★8月12日

明日 明日。

明日できることは 明日やる。

★8月11日

あゝ あ〜 今日も 朝っぱから くそあじい。  
汗で ぐじょぐじょ。  
何やら 昨日あたりから 頭が痛い。

気がつけば 頭痛が消えた。  
このままだったらどうしよかと 思った。

久しぶりに、かえる姫の話を読み返した。  
なんか変。  
明日 手直ししましょ。

★8月9日 68年前の今日は 長崎原爆投下の日。

第二回目の原爆が投下された。

アメリカ人は 悲惨な戦争を終結するための手段だと言う。

しかし 2回も？

しかも 違う種類の爆弾を？

アメリカ人は「謝らないよ。」 と きっぱり言いはねた。

自分は 原爆投下は実験だと思っている。

恨みとまでは思わないまでも 日本人として深く刻んでおくよ。

じゃんじゃん作りたかったら 作ればいいさ。

持ちたかったら 持ったらいいさ。

死の灰で 地球まるごと 覆い尽くせ。

生きたいなら 生き抜けばいいさ。できもんならね。

しかし 核貯蔵庫に 爆弾が投下されたらどうするのだろう？

使えない兵器を どうするのだろう？

老朽化した爆弾は どうするのだろう？

せいぜい 自滅するがいいさ。

★8月7日

最近、女子高生を中心として、ボーカロイド小説が品切れ状態との記事を見た。

そのボーカロイド小説ってなんじゃろ？と 検索してみた。

初音未来なら知ってるよ。

ボーカロイドという名称はしらなかったけど、こんな曲なら前から聞いたことあるよ。

でも、にこど〜は見ないし、そんな文化が派生していたとは、知らなかった。

コラムでは、男性とをターゲットにしたものなら、萌系とかエロ系とかは色々あるけど、少女をターゲットにしたものとなると、主に恋愛ものしかなく、それには興味のない少女たちが、

ボーカロイドにはまるらしい。

一見、聞いた感じだが、傾向としては、禍々（まがまが）しい感じ でよいのかな？

読んでないし、歌詞も早くて聞き取れないしけど。

この世は、はっきりとしない、儚げなイメージが、少女の不安定な感覚と一致するのだろうね

時代を代表する、AK\*だって、一見、女の子達、自分らが主役の様に見えるけど、実際は商品そのものだしね。

A\*Bでは、少女たちは、夢を見れない。

破滅的な世界でしか、自分を投影できないのは可哀そうな気もするが、少女たちの感性は、もともとそゆうものなのだろう。

★8月6日 広島原爆投下の日

ちょっと前の日本人は、生きるのがやっとだったのだな。

この時期は、戦没者の霊を慰める行事の中に、

隣国から、と言っても、中国・韓国だが、特に激しさを増す内政干渉のニュースで不愉快。

ジブリ映画「風立ちぬ」好評らしい。(マスコミ発表)

思えば、崖っぷちのポニ\*とか かなり失礼。

自分の作品 揶揄されたら 心いい人なんていやしない。

反省してます・・・・・・・・ と 書いておこう。

まあ なんだな・・・・・・・・

徳間書店には 思い入れがあるだけに 残念であったね。

実際 内部ではどんな会社かしらないけど。

まあ 色々 生き抜いて行くってことは大変な訳で みんな苦労するよね。

## ★8月3日

昨夜、古インカ帝国の生贄少女の記事を見た。  
生贄と言えば、日本では多く行われたのが、人柱。  
旧約聖書では、イサクの燔祭（ハツイ）が有名。

イサクの燔祭については、以前（おまけ）で書いたけど、  
アブラハムの信仰と神との関係については考えず、  
それまで行われてた信仰による人身御供を否定する為の話となれば理解はし易い。

次に、血についてであるが、  
旧約に登場する、カインとアベル。  
カインが、アベルを嫉妬から殺し、その血が地に染みて殺人が発覚する。  
「アベルの血は、地の中から復讐を叫んでいる」とある。  
故に、魔女は、血を残さないよう、火あぶりの刑処せられることとなったらしい。

一つの罪は、一人の血によって償われる。  
神の子、イエスは、全人類の過去・現在・これからの人々の罪を購うために、血を流した。  
イエスの処刑法は、火あぶりではなく、はりつけの刑で、  
死因は横隔膜が上がった状態の窒息と脱水症と聞かされたことがある。

戦争で、人の血を流すのは、より多くの人を殺すのは、  
痛い なのだろうか？  
と、 ふっと思ってしまった。

しかし、流れた血は、新たな復讐を残す。  
故に、原子爆弾 と言ったものが、考え出されたのであろうか？  
血を流さずに、一瞬にして吹き消す装置。  
現実には、一切、血を残さないことは不可能であったけど。

現在においても、何千年も前の呪縛が続いているのかと思うと、  
恐ろしい。

日本の切腹について、切腹は、死罪程の罪に対する処刑法の一つ、  
または、合戦の時、相手方に首を取られない為に自害した手段の一つ、  
ちなみに、切腹は武士階級に許された自決である。

大河ドラマで、降伏した会津に、首謀者の切腹が命じられる。

その後、再興が認められるのだが、  
この行為は、人身御供 なのでは？  
勿論、誰でもいいわけでもなく、納得のいく人物を差し出さねばならない。  
詰め腹を切るとは、誰かの血に依って購う行為、といえやしないか？

では、何故、切腹なのか。  
腹には、魂が宿っており、感情も腹から湧いてくると考えられてたらしいね。  
だから、恨みつらみはお腹にあると。  
腹を切って、その恨みを吐き出してから死ねということだそうだ。

切腹は、血というよりも、切腹と言う儀式が求められているように思える。  
罪人というくくりで殺されるのではなく、何処の何がしと名乗り、自らの手で死んで行くのだから、  
最後まで、人格を保ったまま死ぬということに於いては、名誉なことではあるかもしれない。

あり得ないことであるが、ルイ16世が、ギロチン刑ではなく、切腹だったらと考えてみた。  
悲壮感が、半端ない。日本人的思考かもしれないけど。  
マリーアントワネットが、いかに女王の威厳をもって断頭台に上がったとしても、  
それが、辞世の詩でも読んで、自決したのであったら、その威厳もさらに美しく散ったであろうに。

これも、日本人特異の感覚かもしれないけど。  
しかし、権威を剥ぎ取り、いち罪人として、民衆達裁きを受けなければ、革命は達成しない。  
これも儀式的と言えれば儀式であろうけど、むごい仕打ちだ。

『死をもって購う』 と言うのは、どうしてそんな方向へ行ってしまったのか  
人類共通の思考なのだな。

★8月2日

久しぶりに 『天空の城 ラピュタ』を見た。  
何十年ぶりだろう・・・。  
シータは ラナに似てるし とか ラナでしょ？

それより 懐かしい 徳間書店。  
あの頃は よかったあ～ 徳間書店黄金期。

★8月1日 Σ緊急告知！！

新作登場！！ 本日公開。  
よろしくね。

作品仕上がると 言い知れぬ虚脱感に襲われるよね。

何を どうしたらよいのか それとも このままでよいのか。  
人には 分かりずらいのかもしれないかもね。今度の作品は 特に。  
なんたって 今回のメインは 『曲のどこで引き金を引くか』だからね。  
物語は その付随でしかないんだから。  
必死になった割には 読み物としては おもしろくないかも。

★7月30日

どうも 体調がすぐれんと 弱気になる。  
ひどい時期には 身体を支えるだけで 必死だったけど  
よくなってくると 変な焦りが 出てきてしまう。

NH\*の番組で はだしのゲン について語ってた。  
今 20カ国に訳され ちょっとしたブームだとか。

自分も 昔 読んだ。  
リアルな 内容に げろげろ。  
でも がんばって 読んだ。  
映画も見たし。  
おかげで アメリカ映画の薄っぺらいこと。  
原爆を扱った映画 題名忘れてしまったけど 全然 心に響かなかった。

8月前に 作品が上がったので 公開をしようと思うけど  
何時にしようかなあ・・・と。

★7月29日

終わった。かき終えた。

しばらく 休もう。

サービスが 何時かわるかわからないし

ヴィールスとか システムの変更で ログインできなくなる可能性もあるし

ここいらで 印刷 してこかな。

随分と ピアノ曲 聞いたな。

この前 読み返して 音符とずれてて びっくりした。

慌てて 書き直したけど。

絶対 使用した曲名 当てるの無理だよな。

本当は 曲に合わせて 読んでほしいけど。

なんか 言い知れぬ 寂しさを 感じる。

感傷的な 旋律を 聞きすぎたせいであろうか？

それは 書き上げてしまった と言う 寂しさ。

空しさも 感じる。

こんなに 入念に 神経使って 書いたけど

読み手には はて なんのこっちゃ？ かも。

何のために 神経すり減らしてまで 没頭するのか？

今の状況が よくなるわけでもないのに。

何かが 変わるかような 気がして

でも 何も 変わらないんだ。

だから いっそう 空しんだ。

★7月27日

最後の山は 超えた・・・。

2頁に収めるつもりが 横着なことに 気がついた。

且つ、感情だけ先走ったら 駄目なのね。

ここで 終えてもいいんだけど 多分 理解できないかもね。

もうちょっとだ がんばろう。

それはそうと どうしてだか 自分の頁に入れない。  
エクソロ〜ラから 入れない。  
なんで？

嫌がらせかな？ とか 思ってしまう。  
なんか NGな表現 あったのかしらとか…………。  
更新が できなかつたりね 重いんだけど。  
投稿しすぎてデ〜タ重いんですかね？

★7月26日

なんだ坂こんな坂 執筆中作品 やっと大きな山場 越えた。ヤヤ。  
思った以上に またも たらたら書きこんで 頁が予定より増えしまった。  
この際は 50頁に収まればと…………。  
だあ〜 後 もっちゃとだ。  
これを書き終えたら しばし休もう。

ああ〜 もうじき 8月15日がやってくる。  
夏の戦争映画 暮れの忠臣蔵 大晦日は第九を聞いて  
正月は 寅さんだったが 浜ちゃんもなく…………

そんな訳で 8月15日までに間に合ったら  
こつちを先に 公開しようかな っと…………。

★7月21日 今日参議院選！

ああ 這って行ったよ。国民の義務だからね。  
あいつ、国に送るのは県民の恥！ の一念でね。  
そんなこんなで、必死に生きてます。

それはそうと、かなり、新作の背景が出来上がった。  
綺麗な曲や、魅惑的な曲は、あまたとあれど、  
静かに締めつけ、激しく揺さぶり、精神を拘束し、  
そして、狂わしていく曲となると、難しい。  
そもそも、そんなに沢山の曲を知る訳もなく、  
自分の知りうる範囲となると、乏しい選曲となる。  
少ない選択肢ながらも、自分の範囲内では、この曲以外には、おもいつかない。

曲のどこで錯乱し、発狂するまでにいたったか、  
一応、めどがついた。 ヤレヤレ。

では、いよいよ、書き始めるとするか。

★7月18日

ぎっくり腰が なかなか治らない。咳するたびに、脊髄に響くし、  
気分だけは、正岡子規。

今、自分は、無謀なこと、試みています。  
うまくできるかどうか？

子供の頃からピアノがしたかったが、家が貧しく、身体も小さく、  
自分には無縁なことと諦めてしまい、なるだけ意識からより遠くへと、押しのけていたの  
だが……。

音楽の知識は、義務教育で習った程度。  
しかも、音楽の成績はと言えば、どちらかと言えば、かんばしくない。

その程度の知識で、どこまでいけるか、挑戦です。

でも、今は、便利な世の中。  
楽譜の見方も、無料楽譜も、曲もしかかも有名奏者で、  
ネットで簡単お取り寄せ。

久しぶりに、ピアノ曲を聞いた。耳がガンガン。

ピアノの詩人にゃ、感情が溢れだす。

あれも、これも、いい曲ばかりで、何が一番なんて決められない。

こんな小説、あるのかもしれないけど、自分の感性で書いてみたい、と思った。

★7月17日 芥川賞・直木賞発表！

そんな訳で あれほど 不気味なくらい 訪問客がありしものを  
今じゃ 閑古鳥が 鳴いています。

日本では 芥川・直木賞の選考が行われてる中  
海の向こうでは ハポタ作者が どえりゃ〜こと。  
違う名前で出ています が ばれてしまった。  
才能とは 隠せないものなのね。 うらまやしい。

それは そうと 世間が騒いでいる間 新しい作品 仕上げたわよ。  
前に ほっぽりおいてたやつだけど。  
でも 今 公開中の作品があるから まだ出さない。  
且つ、おまけを書くのが 面倒臭い。

というのも、実は、全くの新作を思いたって、早く書きたくなった。  
ほっぽりおいてたやつ また再び ほっぽりおいてもよかったのだが  
乗ってたんで 最後まで書き通しました。

そのうち公開予定。  
好ご期待！！

★7月12日

最近 対話機能がどうたらで不能とかいメッセージが出てくるのだが、  
あれって、何だろう・・・？  
と、勇気を出して、クリックしたら、画面がまっくろになった。  
Σげろげろ！  
というわけで、慌てて再起動した。  
フィッシングとか、色々事故が多いからね。  
最近では、果物画像に要注意！オ〜ココ。

★7月11日

7月1日付 公開開始作品ですが、あれよあれよ、という間の、ダミアン越え。  
スリーセブンもぶっ飛んで、どうしちゃったの、何何、何があったの状態へ。  
何が、あったの？  
一変、今日の訪問者は少ないけど・・・。

今、新作書いてます。

新作と言っても、ほっぽいってたやつ。

あ～、これも長くなりそう・・・・・・・・。

土曜未明発生した、げろげろな咳でおこった、ぎっくり腰、まだ痛い。

まっすぐなれません。

激痛に耐えているせいか、お腹がすく。

何か食べたい。

いや、これは痛みによるストレスだ。

なんでもいいから むしゃむしゃ食べたい。

★7月9日

何時も 不思議に思っているのですが . . . . .  
ランキングって 何が基準なの？

自分検索を して見た。  
自分の作品に順位がついているんだけど。  
なんだ この順位？ 何か 意味ないよね。

独自の方法で ランキングしているらしく 詳細は秘密 とのこと。  
なんだか 腑に落ちない。

他で検索してみた。ランキングの謎。  
自作自演 乙！ 今は できにくいらしいね。

気がつけば 2ch。  
確かに 書くばっかで しかも有料本出しちゃってますけど。  
素人が売れるってのは まず 期待できないのは 知ってますよ。

確かに ここって どの層なのか不明。  
投稿しておきながら . . . . .  
投稿する側も 読む側も なんだかわからない。

随分 閲覧数が増えてるけど どうしてだろう。  
真面目に 読んでくれているのか うっかりクリックしちやっただけなのか  
閲覧数が増えるのは 嬉しいことだ。  
でも それって 単純に喜んでいいのか . . . . .

投稿料が かかってきたらやだな。  
そんな根性だから 駄目なんだ。

★7月7日

びっくり腰で、再起不能に！  
昨日未明、げろげろな咳に襲われ、ぎっくらっ！と びっくり腰に。  
老化かあ～？  
老化だあ . . . . .

★7月6日

昨日、暇だったんで、かえる・カエル 検索をして見た。

蛙はいいのお〜。心が和む。 ホホノ。

大抵の作品に、ほっこり。

そんな中、変わり種発見！！

そうゆうのって 『自意識過剰』 ってんでしょ？

何言ってんだか よく分らんのだが・・・・・・・・。

要は、コメントしろや！アホダラ。 ってことかな？

どんな作品か、消されちゃってるから分らないんだけど。

そういや、あたい、拝見させてもらっておきながら、コメなんて残したことないや。

それって、いけないこと？

・・・・・・・・いけないらしい。 面倒臭いシステムだ。

自分は、閲覧数見て、読んでくれてるおお〜 って、単純に喜んでたけど。検閲乙！

迂闊にコメント残しちゃったりしちゃったら、アレでしょ？

自分の意に添わないコメだと、逆上するんでしょ？ ど〜せ。

作品、読んでないんで、なんともコメしようがないけど。

コメってないけど、頑張っってね〜 蛙ちゃん達！ 応援してるよ！

★7月5日。 Σ緊急告知：新刊でるよ！

文字が多少変更できるのね。ごっしくかわいい。

でも、今までの全部かえるの面倒くさい。

また、ちょっと最近、ルビ機能発見。

面倒くさそうなので、断念。

きょうび、弁護士の権限で、誹謗中傷の削除依頼とか、投稿者の特定とか、

更に、慰謝料の請求とかできちゃうのね。

あたかも、誹謗中傷されちゃったらどうしよ。

結構な料金がかかるらしいが、お金ないよ。

と言うか、そもそも、エロコーチとか、某アニメ製作所のこと書きこんじゃったり・・・

でも、誹謗中傷してないよ。

と、自分だけ思ってたって、案外これがコードに引っかかたりすのかも。

される方より、する方、心配した方がいいかもね。

それはさておき、新作発表！

よろぴこ！ 検閲乙！

・・・ってか キモいんだけど、あのえろ漫画。

何、必死こいて並べてる訳？

あんな感じで、結局、收拾着かなくなったんでしょ？ 外部ストアって。

部数 制限されてら (笑w

ってか、結局、それって、自分に唾はいてるようなもんじゃないの・・・。

★7月5日ちょい前。

身体がヘトヘトなのに、眠れない。  
あることが気になって。

何か、不気味で不可解なことが起きる。  
自分で、勝手に思っているだけやもしれんが、これって、検閲？

今日、公開中の本に、頁を1頁増やした。おまけだけど。  
そしたら、その後、一気に閲覧数が増えた。  
不気味だ・・・・・・・・。

思うに、これって、著作権G'メンとか、ポルノG'メンとかじゃやないの？  
ひょっとして、検閲も閲覧数にカウントされるんじゃないかと・・・・・・・・。  
思えば、思い当たる節が・・・・・・・・。  
毎日、多少なりとも閲覧数が増える。  
不気味だ・・・・・・・・。  
カキココで、増える。  
うかつに、読んでくれている人がいるんだ！ って 単純に喜んでいただけ  
実は、検閲だったんだ・・・・・・・・ガッツ。

その後、勝手にログオフされてしまったり  
ログイン できなくなってしまう。  
不気味だ・・・・・・・・。  
自分の頁に入れない。  
検閲に、ひっかっかたんじゃと、焦ってしまう。（真相はさだかじゃないけど）

そして、Kindleの怪。  
2012年12月までは、自由に無料で掲載可。  
しかし、それ以降は、プロ使用のみ。  
お金でプロ、買わないけど・・・・・・・・。  
そんなこんなで、プロ代、徴収されるんじゃないかと、かなり不安。  
一応されないって、書いているけどね。  
外部ストア脱退自由って、書いてある（と思ったが）のに、脱退できないし。  
不気味すぎる・・・・・・・・。  
お金ないかんね。  
払わないよ。

未だに、エクスフロ～ラからログインできないし。  
何か、拒絶されてる・・・なんで？

★7月4日。

今 日本で、最も有名なロシア人と言えば・・・・モロゾフ氏

モロゾフと言えば・・・・

そう 『プリン』 とか 『エロコーチ』 とか。

ちょっと前？ いえいえもっと前は、ウラジミール・キプラスキイーと言う方もおりましたね。

レナウン大公国が、全盛期の頃・・・・。

そんなことは、どうでもよいのだ。

何時も、自分は、物語を書く時は、大抵クラシックをかけている。

歌詞のある曲は、耳が反応して邪魔になるから。

一番、好きな曲は？ と聞かれたら、何を上げるだろうか。

あれもいい これもいい どれも好き。

でも、一曲をあげろと言われれば、

やっぱり、チャイコフスキの 『花のワルツ』 だろう。

もし、ここで、げろげろな最後を遂げたなら、

お葬式には、今であったら、『花のワルツ』をかけてくれ、と思うだろう。

『花のワルツ』は美しい。

ただただ 美しい。

現実から解放し、夢の世界へ誘ってくれる。

扉を開ければ、もう、ほら、そこは夢の世界。

★7月3日。

今日は、売れる為の攻略について、思案していた。

人気のある本について、偵察。

なんだか、虚しくなった。

何の為に、自分は書くのか？

多かれ少なかれ、下手上手限らず、人である以上、表現の欲求は抑えられない。

更に、別の問題が浮き彫りに。

ああ 活字が読めない。

長い文章が・・・・3行越える文章が・・・・苦手。

これは、脳に問題があるからだろうが、どんどん加速して行ってる。

ああ、そうだよ。

あたい、長い文章が読めないのさ。

どうも、視覚的に捕えてるようだ。

結論。

自分は、売れようが、好まれようが、そう言ったものからは、全く外にいるのだなあと、実感

。

ただ、思いが向くまま、気が向くまま書く。

それでいいんじゃないかなあ？ と・・・・・・・・。

★7月2日。

何だか 燃え尽き症候群。一冊、書き終えて。

風邪も 大分よくなってきたし、天気も梅雨はどこへやら？

そーなんですけど、何もする気がしない。

あ～、相変わらず、金欠だけは解消なし。

★7月1日。 Σ 緊急告知！

いっちゃいますか？

いっちゃいましょう！

月も変わって、週も頭。

カレンダーだって 先頭きっちゃってます。

Σ 緊急告知！：新刊発行。本日～発売。

お題 『麗しのかえる姫』

毎週 月曜公開。

早く続きが見たい人は買ってね商法！！

★6月30日

最近 ズバリに思う。

「こんな時代だもの ファンタジーは描けない」っていうけど

でも 「こんな時代だから ファンタジー描いてくれ」と思う。

3. 11で 津波を連想させる場面は 避けているとかいないとか。

そうなの？

聞いてないけど 実際 津波被害に遭われた人達って 水がぶわあ〜っと出るシーンとか 嫌  
ですか？

自分は やはり 影響を受けて無いとは言えない。

やっぱり 海に行くのはなんとなく嫌だな。

昔は 自然の感じられるものだから わくわくしたけど

今は 行こうと思えない。 足が向かない。 避けているかも。

実際 津波には被害なかったけど 想像するとね……………。

幼少のころ 海で溺れかけたことがあるから

津波に呑み込まれた人のこと 思ってしまう。

自分の感覚を通して 想像してしまう。

それに 変わったことと言えば

生き残った人に 生きて欲しいと思う。

死んだ人が辛いのは当たり前だ。

更に 生き残った人は もっと辛いのでは？

そう思うと 生き残ってしまった ということについて 考えてしまう。

あの地震は 少なからず 人に大きな傷を与えたと思う。

自分は 何とも思っていないと思っているけど やっぱ 負ってしまっている。

海に行くのは 本当は怖い。

だからって 連想させると思われるようなシーンを抹殺するって どうなんだろう？

何の問題の無い 平穏なものだけ集めて

へそ曲がりな自分的は 気持が悪い。

自分でも 本当は 考えた。

作品の中に 水が井戸からぶわ〜っと溢れるシーンあるけど

書きながら これって 今の今はどうなのだろう？って

でも このシーンがなくては 話にならないし

世界が再生されない。

まあ あたいの場合 読むしとが限られているし  
ジブリのように 誰でも目にする可能性があるとか  
うっかり 知らずに見てしまって フラッシュバックに陥る可能性があるってことはないだろ  
うから  
がんがん 書いちゃってますけどね。  
表現を制限されるのって 辛いですね。

★6月29日 今日は肉の日。

物語 書き終わりました。

今 平準化 してます。

家が いつの間にか 小屋になたり

色々大変です。

だれか～ 校正してくれ～ そんな心境。

これくらいは 許されるかな？ とか

本当 めんどくさい。

漢字も 調べなきゃなんないし。

この際 ひらがなで とか 思うのだが、今度は字数が・・・・。

それに おまけこ～な～！ もつくらなきゃ。

おっといけない。

天文学的照合の手直しもせねば。

忘れてた・・・・・・。

そんな感じで まだまだ公開できない状態。

★6月27日

がっびょ～ん！ その1

本が売れたと思ったら 減っていた。

何これ？ 返品？

まあ 自分でも なんでこれ売れるんだと うっすらとってはいたが。

ぬかよろこび。

次。 その2 いくよ。

そろそろ物語も終盤。

あと数頁で終わるよ。

と 思っていた矢先 重大なことに気がついた。

西から昇ったお日さまは ひがし～にしず～うむ ♪ ヲホントツ？

と言う訳で 月は東から昇って 西へと沈む。

つまり 東の国に向かうとしたら 月は後ろにある訳で

しかし 物語としては やっぱ

「月に向かって」ってフレーズは 魅力的。

がっくし。

そこは 所詮物語りでしょ 的に なんとか見逃してくれないかしら？

とんだすっところっこいなこって 気になりだした気になるもの。

また 遡って直さねば。

★6月20日

かかってこいやっ～！

風邪 うつさりた。

先ずは 喉がひりひり。

そのうち どんどん痛くなり 更に 節々が痛い。

寝たら寝たらで 寝汗がぐっしょり。

ぎもじわりい～。

そなんこんなで 汗疹かしら？ ぴりぴりかゆい。

昨夜は 頭痛の喉の痛みで 寝た気がしない。

そして 寝汗で びしょびしょきもい。

なんとかしてくり この痛み。

喉が痛くて 苛々する。

まるで おつう になった気分。

身を粉にして 機を織る。

げほげほ げほげほ 書いています。

★6月27日

めるし～ぼくちゃん。

じょうちゃんかもしれないけど。

購入ありがとうございます。

今書いている物語も いよいよ佳境。

最後のクライマックスを迎えんとするところなのですが・・・

間違えた。

ここまできて とんだすつとこどっこい。

慌てて 遡って 書き直し。

今更なのですが 上から順々書き足す方式にしたらどう？

連作にしようかとさえ 思ったけど

今更かえるのもなんだな と思ってみたり。

実は マニアル読むのが面倒だから。

なんとなく日記てきな ブログ的な

日付追って読むのが 慣れないとひどいよね。

そんなこんなで 気がつけば 200頁軽く超える大作に。

貧困と労咳は 文豪の必須アイテム。

げぼげぼと 環境だけは 文豪気分。

★6月16日

ちょっと気分を変えて・・・・・・・・。

「余韻泥棒」なる記事を見た。

ジブ\*次回作「風立ちぬ」予告が、映画の上映後4分続くとのこと。

その予告のフィルムが感動的で、見た映画の余韻をも失せてしまうほどの感動作品らしい。

中には、涙が溢れ出てきた。という観客までいる始末。

なぬ？

それは凄い。

それほどまでも、すんばらしいできなのか？

これは是非とも見てみたい。

というわけで 検索してみた。

これか？ 多分これ？ 4分じゃないけどね。

というわけで、泣けるジブ\*リ宣伝映像だと思われる映像を、ゆ〜ちゅ〜ぶで見てみた。

・・・・・・・・。

荒\*由美さんの曲が、流れてた。

世間様の感受性の強さに、脱帽。

どんだけ自分は、不感症なのだと・・・・・・・・。

思えば、ジブ\*りとわたし。

\*ウシカも見た。 即行

ラ\*ユタも見た。 即行

魔女\*も見た。 即行

ものの\*も見た。 ちょっともたつく

\*と千尋も見た。 評判見て見た

お金を出して、映画館で。

平成ぽ\*ぽこ とか お子様使用か？

とろろ とか お子様使用か？

紅の\* とか おやじ使用か？

とかなんとかの理由で、テレビで見た。

ゲロ戦記 試みたがめんどくさそ

崖っぷちのぽによ ｷｯ で拒絶反応が

そして 今や 全く・・・・・・・・。

多分 世間様の注目度とは反比例な関心指数。

といわけで 久しぶりに\*ブ\*リに関心を持ってみた。

気になる作品発見。ビッポトきたよ。

「夜のたまりの物語」 おもしろそ。

映像も綺麗。

見てみたい。

でも うちには DVDプレイヤーが無いんだよね。

そんなこんなで 次の作品は ぼけ老人の話 だと思ってたら  
DVD「皴」の宣伝と勘違いだったことを、発見。

というわけで 新作「風立ちぬ」であるが、

宮\*駿氏遺言の作、とのことで、

しかし 自分としては、

「風の谷\*ナウシカ」 完結させてから逝ってくれ。

・・・・・・・・・・と忉 今頃この頃。

★6月11日

どっぴょ～ん！

なかなか終わらじ。

まだ 姫は 参内仕らぬかあ～。

自分的には かなりの長編。

多分 20頁か30頁にできるのでは？と思うのだが

ここはちと 辛抱して書いてみようかと 思っている。

この前 進化する鳥をテレビで見た。

胡桃を車でかち割るのは 今や当たり前。

今時の鳥は 公園の水飲み場から 水道ひねって水を飲んじゃう。

でも 閉めない。

更に ゴミ捨て場では マヨネーズの蓋をきゅきゅきゅと お手軽に開けちゃったり。

もともと二足方向じゃないの。

このままいけば 人間レベルまで いっちゃうのかしら と思っちゃう。

予告で見たが 次のNH\*の「ダーヴィンが来た」では 鳥。

楽しみだ。

そして 今日 日本VSイラク戦。

★6月12日

鳥もそうだが 雀もそうだ。

何の鳥の真似しているのか 雀は桜の蜜を吸う。

花を散らして

そして カタツムリ爆弾を ぶつけて来る。

多分 カタツムリの殻を 割ろうとしているのだろう。

しかし そこは雀だ。

すっとんきよなところに 落としてくる。

残念だったね。カタツムリ爆弾は 不発だよ。

こんな具合。

今日は すこぶる手首が痛い。

右の手首が 動かすたんび 痛いのだ。

多分 これって腱鞘炎？

昨日の 日本VSイラク戦だ。

サッカーの観戦によるものだろう。

多分 寝ながら見てたから。

右手を枕に・・・・・・・・。

勝って 有終の美で終われて よかったよかった。

★6月13日

気がつけば 122頁。

でもまだまだ終わんない。

とは言うものの 122頁って数で びびんなよ。

一般的な 122頁じゃないから。

1頁が 200~450文字数位。

どうなんだろう？

普通 1頁って文字数何文字？

自分の場合は およそ1頁が400字詰原稿用紙と考えてよいのかな。

文の調子とか 雰囲気統一するのって 邪魔くさいな

長くなると ごまかしがきかなくなる。

ベテランになると どこでトイレ行ったとか ここで今日は終わったとか

文体みて 中座したとことか分るらしいね。 おそろべし。

だんだんたどたどしくなっているけど。

前の方の頁は 何回も読み返して 修正しているのに

中盤になって来ると 雑になってる。

語調も あってなかったり。

同じ調子で テンション保たせるのって 大変なんだな。

と 思った。

★6月7日

今日も悲しいニュースを目にした。  
チベットでまた人が焼身自殺を図ったのだ。

僧侶が 中国政府に対する抗議の為、焼身自殺を図るという記事は  
度々目にすることがあるが、今日のニュースは、4人の子を持つ30歳の女性だという。

彼女は信仰心にあつく、貧しさゆえ学校には行けなかったが  
人の為になることをしたいと考えていたとのこと。  
チベットの為に自分ができること・・・それが 焼身であったとは。  
その数日後、また一人の女性が同じ場所で焼身自殺を図ったとの言うことだ。

なんともやるせない 悲しい記事だ。  
このような悲劇が あとどれくらい続くのか  
あと何人 人の命をささげたらよいのか

中国政府に どれ程の効果あるのか分からないが  
少なくとも わたしの心は 尋常ではいられない。  
悔しさで 一杯だ。

★6月2日

4章までいきました。

しかし 実は 細かいことに囚われてしまった。

泉って何？

話の現場を 泉としが 果たしてそれって正解？

イメージとしては 割と大きな水たまり。

それって 池？ それとも沼？ いやいや湖？

でも 泉で 進めてしまったから 今更直すのもね……………。

王子さまとお姫さまが出会うのなら 湖でしょ。

でも 湖では 蛙には生活できないんじゃないの？

もっと草が茂ってって 浅くって ぴしゃぴしゃしたところじゃなくっちゃ。

でも 学術本じゃないんだから そんなのって どうだっていんじゃない？

とわ言うものの 結構読む人って 細かいこと突っ込んで読んでるよね。

自分がそう。

だから なんとなくでも それ相当な生態系に従わねば。

などと 悩んでいる。

やっつけ仕事だから こうなるのだ。

★6月4日

なんだか 話がすすまない。

飽きてきた。

蛙がなにを食べるか どうやって食べるかとか

人の行動とか 動作とか

考えるのめんどくさい。

いちいち説明しなくても 分ってくれよ と 思っちゃう。

森に どんな花が咲いてるかとか

花は花で 勘弁してくれ という感じ。

貧困だあ。

文体が死んでいる……………。

★6月5日

やっと 王子様とお姫様が出会った。

長かったあ〜。

でも まだまだ続くよ。

そもそも 30頁多くても50頁位で終わっちゃうと予想していたのに  
まだまだ続くよ。

既に 今の時点で82頁。

このままいけば 軽く100は越えちゃう予想。

そしてさらに行っちゃうよ。

集中力が切れてきた。

誰か 代わりに書いてくれ。

頼む。

そんな心境。

★6月6日 雨がざ〜ざ〜降っておらん

ぷりうすの樹だが・・・・・・・・

たったの15年で あんな立派に大木になるのかあ〜

と 突っ込んで見たり・・・・・・・・。

★5月28日

最近 と言うか 今日なんですけど・・・。

本が売れた。

お買い上げ ありがとうございます。

どなたか存じませぬが ありがとうございます。

内心 信じがたいことです。

ぶっちゃけ 購入しなくとも 完読できるものを

そこを敢て購入していただくとは なんと奇特な方だ。

折れずに 明日を信じて 書いてみようと思います。

ついで ってわけじゃないんですけど

最近、思うことがあって 本の価格下げようかな、と思ってました。

どうせ 売れるわけね と思ってたんで、

でも、1000円はやりすぎでしょ と少々反省してました。

「シン」を持つことは大事です。

プーシキンの詩に支えられました。

日々精進です。

じゃ！

★5月30日

えくすろ～ら～ から 入れませんか？

なんか あたしったら やらかしましたか？

アクセス拒否になるよなこと やっちまいまいしかね？

でも ふぁいるふおっくす から はいれますた。

今 おとぎ話の王道 書いてます。

やっと1部 終わりました。

★5月26日

もうろく度 加速中！

年はとりたくないものだが 人が死なねば 次世代が産まれない  
宇宙の摂理だ 仕方がない。

原爆は神の懲罰。

遂に そこまで言われる始末。

人は 生きながらにして罪を背負うもの と言うが

日本人は 日本人に産まれた と言うだけで 罪人らしい。

ああ やるせない。

日本人が 傷を負ってないとでも言うのだろうか？

外地にては ソ連軍による強制連行 強制労働 そして強姦。

本土では 鬼畜米兵と言わしめた 進駐軍による悪行の数々。

それは 今でも沖縄を中心として 続けられている

恨み節は 天に唾を吐くようなもの。

敗戦国 と言う言葉で 全ては片付けられてしまう。

何時まで 侮辱され続けるのだろうか？

賠償金どころか 我々は 告発さえできない。

何をされても 罪にはならないのだ。

悔しい思いを抱きつつ

アメリカ移民の言葉を思い出す。

以前 芸大で催された 「尊厳の芸術」だったかな？

次に生きる子供たちの為に 恨み事は噤んだ。

子供たちには 恨みの芽が生えないように よりよい思い出を作ってやった。

彼らの思いに報いる為にも 憎しみの芽は 育ててはいけない。

でも 言いたい。

長崎に落ちた原爆は 皮肉である。

黄色い猿どもへの報復は

彼らの神の上にも 落ちたのだから。

罪大きい日本人が 物を申すより

真黒に焦げただれたマリアは 饒舌であろう とさえ思える。

原爆は 信仰深く良い行いの人の上にも落ちた。  
これが 神の懲罰なら  
世界中の人々の上に 降り注ぐだろう。

自分は 過去に生きた日本人達を 誇りに思うよ。  
悪い奴も 確実にいるが  
大半は 時代の渦に 巻込まれた人たちだ。  
痛手を受けていない人間なんて いるのだろうか？  
それでも 必死に生きてった。

恨みの芽は 育ててはいけないけど  
哀しみは 忘れてはいけない。  
敗戦国の汚名が採れて  
全ては 人類共通の悲劇 となる日が来ればと思う。

★4月9日

どうしても納得がいきませぬ。  
どうして 対馬の仏像が 返されないのか。  
仏像は どうしたいのだろう？

★4月24日 そろそろゴールデンウィークですね。

ふっとした瞬間です。  
何気なく 外を見てました。  
なんだか疲れて 息を つきたくて。  
外を 眺めていました。

そしたら・・・・・・・・。  
カラスが 屋上ガーデニングの塀に つ〜と来て るうっと 溜まりました。  
そして ビルの谷間を抜けて 消えてった。

カラスが 話を 持ってきてくれました。  
黒カラスが・・・・・・・・。  
早く 書きたい。

移動中の 窓の外にも カラスが 急きたてます。  
早く書け っと。

★5月10日

連休中に番組だったかな 面白い話があった  
ジブリを 韓国で放映 するらしい  
放映にあたって 困ったことが起きたと言う  
日本語に当る言葉が 韓国にない というのだ  
例えば 千と千尋神隠し⇒千と千尋の行方不明 とか。

午後のワイドショーで 今後は韓国ミュージカルを 輸入する  
という 話があった。  
何でも 韓国ミュージカルは 少数出演者のわりに 役者の歌も踊りも 上手く  
見ごたえがあり 楽しめ その割に 格安だと言う。  
また 特徴として 喜怒哀楽の表現が 直接的で分り易い とのことだ。

こんな話を聞くと なんとなく アルカイクスマイル。  
確かに よく訓練されて 完成度も 日本のアイドルに比べたら 遥かに上かも。

数年前 日本女性が タンゴで優勝した。

そう若くもなく どうしても周りと比べれば劣るパフォーマンスの中である。

受賞理由は 女性のおくゆかしさ だそうだ。

内に秘めた情熱。

世界が 日本の美意識まで到達したのか

自分達以外の表現があるという認識に至ったのか

日本人の表現が理解されるということは 凄いことだ。

★3月23日

年をとると言うことは 怖い。  
今あるものが なくなるようで  
そのうち全てが 無意味になる。  
思い出の品とか  
欲しくて 集めた物とか  
全てが . . . . . 色 あせてしまう。

時が止まればいいのに と思うが  
仮に時が止まったところで  
自分の活動も 思考も 止まっている訳で  
意味がない。  
やはり 人は 確実に 老いて行くのだ  
一秒 一秒 確実に。

★3月24日

恋愛ものを書けと言われて 書いてみたが  
なんだか 評判 あんまり良くないんじゃないの？  
仕方ない。

★3月31日

明日から新年度。

自分は いったい 何をしているのか  
自分は いったい 何者なのか  
ああ 何一つとして 掴みとれない。

プーシキンの詩を読んだ。  
「詩人に！」

何を 迷うことがあろうか  
そう 何に 迷うことがあろうか  
これが 自分たる所以 であることを。

★4月5日

今 プーシキンの民話 読んでます。  
勿論 誰かが翻訳したやつ。

・・・・・・・・・・なんだかなあ～。

内容が あまり よく理解できません。

多分 原文で読むものなのでしょう。

★2月2日

その 毒の園 ですが  
結構前に 読むことは 読んだのですが  
．．．．．ん？  
って 感じですよ。  
もっと 幻想的なのかと 思った。

「植物の王国」 暫く携帯してたんですが  
あまりの重さで 断念しました。

ちょっと 期待はずれ。

因みに．．．．．  
もう 花粉は飛んでますか？  
アレルギー反応が 何日も前から 出ていますが。  
それとも 某国の 光化学スモックですかね？

★2月11日

世間様は 3連休。 じゃない人もいるけど  
そんな最中 熱出たあ～。  
なんだこれは．．．．。  
インフルエンザでしょうか？  
その割には 食欲あります。  
食っちゃ寝 食っちゃ寝  
傍から見たら なまけ病。

と言うわけで 熱で だらだた寝てました。  
やまいだれ っで 今日も とつと寝ちゃいます。  
面白いテレビもねいしね。

★1月16日

毎月曜日 更新予定でるのだが  
あくまで 予定ですから。

ちっと野暮用で 更新できませんでした。

★1月28日

なんか ついてない。  
といより 抜けている？

昨日 お買い物に出かけた。  
歩いて行った。  
じじいのくせに。  
山あり 谷あり 凄い坂。  
やっこ さっこ たどりつき  
買物籠も ふたがった。  
なんでか レジは もたついて  
結構 またされたんですが・・・・・・  
いざ お会計。

Σあっ！ お財布 わしれたあ・・・・・・。

そのまま からのエコ籠持って  
虚しく なんだ坂 こんな坂  
必死こいて  
雪に塗れて  
帰りました。

それが 午前。  
食料が やっぱ ないんで 午後 改めて お財布持って 行きました。

おかげで 左足の小指は ずりむけ 痛いです。

そして 今日。  
電車にて 見栄をはって じじい席には座らず  
一般シートに鎮座しておったら  
揺れた瞬間 足 踏まれた。

勢いよく 思いの限り ぐいっと  
若者に 体重かけら 乗りあげられた。  
それも 左足。  
小指めがけて・・・・・・・・。

「いだだだだあ〜」

多分 明日以降は 筋肉痛。  
だから もう寝る。

平成25年(21013年)

---

★1月1日 あけまして おめでとう ございます

取敢えず 国民の義務と権利と 受信料払っている大人の事情で  
NHK紅白歌合戦を 見ていた。

そもそも 人の考えることなんて 対して変わらないものなのでしょうが  
歌の歌詞とか ドラマの台詞とか

自分の書いた文章と かぶっちゃったりなんかしちゃったもんなら・・・・・・  
気分 悪いよね。

ぱくった訳じゃないけど・・・・・・

でも 世間的には どうしたって 部が悪い。

結局は これぞと 思ってみたものの どこかかこかで 耳についているフレーズの 使いま  
わし。

新しい表現であるとか 斬新な話であるとか  
やはり それが 天才が成せる技なのであろうか。

つくづく いやなんちゃう。

いっそ そこんとこ ぱっさり 削除とか・・・・・・  
まるまる1頁 無くなるけど？

そんなこんなで 元旦きちゃったじゃないの

★1月4日

昨日、本屋に注文していた本を見受けしに行きました。

且つ、図書カード購入。

・・・・・・なんもないの？

先着何名様のみブックカバープレゼント。

あ、そうですかと 帰ってきました。

ぶっちぎりに、仁の再放送見てました。

なぬっ！最後までぶっと～さないんでしか？

それって 何の効果を狙ってか？

機会があったら、最終章見ますから。

詰まらん垂流し放送見るより、よっぽど面白い。

が、三が日まとめやってくんなきゃだわさ。

まだ、本読んでないけど。

そのうち読みます。

★12月26日 組閣発表じゃないの。

不思議なことで ダウンロードは なされじも

地味に 閲覧数が 増えている。

ご来店 ありがとうございます。 と 取敢えず 言うておこう。

売り上げはあらしも 閲覧数が 地味に 伸びている。

題名に引かれて 不覚にも うっかりクリックしちゃった人かしらん とか。

一応 有料だが・・・・・・・・

事実上は タダで 読めるんじゃないの？

と 表示に偽り有の疑惑が・・・・・・・・

これは 詐欺商法に あたるのでは とか・・・・・・・・

そんなことを 聖なる夜に 考えてみたりしてみたりした。

★12月19日

「夏の夜の夢」読み切った。  
そそ こんな感じ。  
面白かった。  
且つ、自分には 記録力がないと つくづく感じさせられた。

新作を 発表して見たわけだが  
なんだかなあ・・・・・・・・・・  
ありふれてるっての？  
新鮮味のない 使い古された言い回し。  
続・続書きくわえようかとも思うけど  
なんだか 生々しい感じで まるで えろ文学。  
ややもすれば は～ねくい～んろまんす。  
そうそう あたしが目指しているのは ける文学。

そんなこんなで 考慮中。

★12月21日 マヤ暦が終わるけど？

明日 人類滅亡ですか？  
そんな最中 なんとか 書きあげ 現在 修正中。  
無理矢理感が 否めない。

すっかり 世間は クリスマス。  
あたしゃ とっても クルシミマス。  
こんな 使い古されさぶさぶぎゃぐも 留学生には ばかうけ。

と言う訳で にわかに クリスマスソング 始めました。  
しさしぶりに出すCDは 神経衰弱。  
やっと当てた サラ・ブライドマン。  
使用後の整理整頓は 忘れずに。  
のど元過ぎれば・・・・・・・・・・。

★12月24日 クリスマス・イブ

百貨店に行ったら 異常発生のアベックで えらい目にあった。  
宗教の自由 万歳！  
街は 恋人たちで 溢れてる。  
じじいは おうちで 丸くなる。

そんな恋愛モード満載な夜。  
新作発表 して見ることにした。

★12月17日 Σ緊急告知： 新作できたよ！

恋愛ものを書いてみろや。と 言われたものの どうしてなかなか・・・。

そんな訳で 嘗て書いたことのある物語を あれして これして なんとかかんとか・・・

どうにか 架橋に入り あともう少し っところろで 陥ったあ～。

気分転換に 毒の話を思い出して見た。

今日 本屋に行って 注文してきた。

どうせないでしょと思ったら やっぱりないでしょ。

毒の本をあさると同時に 「夏の夜の夢」も 同時に 家の本棚 あさってみた。

なんとなしに 思い出したのだ。

確か 以前 読んだ覚えがあると・・・

やっぱり あった。

以前 読んだときは 途中で挫折。

誰これ？ なんだお前は？ というわけで 出演者が覚えられなかった。

そんなこんなで 再度挑戦。

あらすじは 大体 知っているし。

多分 以前読むには 未熟すぎたのかもしれん。

さすが しえ～くすびい～あだと 感心する。

取敢えず 頭を切り替えて

自分は どちらかと言うの 感化され易い。

見たものを 直ぐ 使ってみたくなる方だ。

買ったお菓子は 我慢できずに すぐ食べる方であるし。

そんなことより 新作だが・・・。

書いているうちに えろっぽくなっていくじゃないの。

いかんいかん それじゃ 官能詩。

かなりセイブして 書きました。

★12月13日 毒娘を調べて見た。

ふっと 昔読んだ「毒の話」を思い出したので 毒娘について 調べて見た。

随分 昔のことなので 記憶が覚束ない。

仕方がないので 本棚をあさってみた。

あった！

が しかし どこにかいてあったかなあ・・・と。

終わり近い 後ろの方に あった。

読んだ。

思い出した。

そんな感じで 一日が 終わった。

『ラパシーニの娘』 米ホーソン著 伊を舞台にしている

『毒の園』 露ソログープ著

ラパシーニの娘 をぱくり 且つ、プーシキンの詩を盗作という

際物。

読んで見たい衝動にされる。

あらすじは 「毒の話」で知っているが どのように違いがあるのか 読んで見たい。

この二作を比較したものを発見。なかなか興味深い。

ますます 読んで見たい。

特に ぱくり番の方。

かなり ろ～まんてっくに違いない。

「～ 死のための死を わたしの心とわたしの身体に注ぎ込んで～」

と 毒娘に 娘に恋した青年が接吻を請うのだが・・・。

最後は ふたりとも死んでまう。その死に方だが・・・。

ラパシーニの方は 娘を罵倒しながら死んでいくらしい。

毒の園では 二人 互いに心変わることなく死んでいくらしい。

そうであったな・・・。

死による解放。

死の代償に得た 約束された幸福。

文学はよくはわからないが そんな感じがロシアっぽい。

自分の潜在意識の中にも すっかり入ってしまったのだな。

自分の書いた作品を 思い出してみたり  
なんで暗いのか 考えて見たり  
していた。

★12月16日 選挙行くよ。

じじい～が おやじだった頃・・・・・・・・  
まだらぼけな 覚束ない記憶であるが  
ルパン三世 サブタイトルは 忘れてしまったが あったね。

人口島に キチガイ科学者 そして 神秘さを秘めた美しい娘の巻。  
話の細部は 忘れてしまったが  
ろ～まんちっくで 且つ、儂げな話であったなあ・・・・・・・・。

★12月1日 早いもので もう 師走。

といわけで この前 お散歩に行ってきた。  
じじいのお出かけが 病院だけだと 思うなよ。

何年ぶりであろうか 芸大へ行ってきた。  
ただなんとなく そうなんとなく。  
ぷら～ と 行ってきた。

疲れたので 展示場は 見てないが  
疲れを癒す為に 映像を 見てきた。  
催し物の 映像である。  
お題は・・・・・・・・・・忘れた。

内容は 日系アメリカ移民強制収容所でのアート である。  
感動した～。  
聞くも涙 語るも涙。

パンチャ～とか言う 過酷な地に 日系移民たちは 大戦中 収容された。  
財産を取り上げられ 名前を取り上げられ  
人間としての尊厳を 取上げられたという。  
そんな中から 拾ってきた木を彫り 表札を作ったり  
拾った貝殻で 綺麗なお花を作ったり  
強風で飛ばされ 辿り着いた枯れ木で 何かを作ったり  
を 集めた展示会である。

映像には 収容所生活を知らない子供が出演して 語っていた。  
「収容所は 楽しいところと思っていた。  
親は どれ程過酷であったかは 子供たちには 話さなかった。  
アメリカで生きて行く子供たちが 生きて行く地に 恨みを持たないように。  
前へと進みように。」

郷に入らずんば 郷に従え。

この言葉は 中国から来たらしいが、英語では ローマのパンチャとか言う坊主かなんかが語源らしい。

この言葉は 命令なのか それとも 心得としての戒めなのか。  
わたし達は 何時の頃からか どうしてなのか 心得として教え込まれているけど。

目には目を 歯に歯を。

前に 韓国人から言いた事がある。

韓国人の根底にあるものは 「恨」 だそうだ。

長い属国として歴史が そうさせたのだろう。

つくづく 憐れに思う。

そんなことを 思いながら 自分の人生に照らし合わせてみたり

そして 先人たちの生き方に恥じぬよう生きねばと 反省してみたり

してみた。

★11月29日 今日肉の日。

砂漠に咲く薔薇 を読み返してみた。

薔薇の文字のバランスが悪い。

そこで 前半にも 薔薇を入れることにして見た。

読み返して つくづく思うのだ。

自分が いかにか 欧米文化に毒されているか っていることを。

キリスト教的思考と 聖書的表現の呪縛を感じる。

どこの時点で 影響を受けたのだろうか？

キリスト教と 大きく関わったのは 高校時代であろう。

授業に 宗教の時間があつたから。

とっても嫌な時間であつた。

人間至上主義的な考えが どうしても受け入れ難い。

嫌よ嫌よも好きのうち とでも言うことなのか？

他には・・・・・・？

本は 勤めて日本人が書いたものを読んだ。

翻訳された文章は 説明がましく 気持が悪かつたからだ。

だから 自分では 影響は受けていないと思う。

影響は受けていない？

本当にそうかな？

日本の近代化は 欧米化でもある。

よって 明治以降の文豪達が 影響を受けていないはずがないのだ。

子供時代に於いては 戦後程して テレビが復旧した。

思い返してみれば USA製作子供向け番組を 多く見せられた。

西洋の古い物語であつたり ギリシャ神話であつたり

また キリスト教を基とする道徳心を養うものであつたり。

正に GHQの策に まんまとはまつたわけだ。

恐るべし・・・・・・。

とは言ってみても 自覚がない訳ではない。

若者は 新しいものへと 目が行くもだ。

近くのものより より遠くものへと。

わたしは 西洋美術に興味を持った。  
西洋芸術は 宗教とは決して切り離すことのできないものだ。  
西洋問わず 東洋でも 日本に於いても  
理解するのに 大嫌いな宗教の時間の教科書が 役に立った。  
理解するのに まどろっこしい聖書が 役に立った。  
それは 文学に於いてもである。  
西洋人が書いた文章が 読みやすくなった。  
他民族他国同士 悪口しあう内容が 分るようになった。

だからと言って 好きになるどころか  
益々 人間中心の傲慢さに 嫌気がさすってもので。  
絵画も バレーも 音楽も 映画も 演劇も 文学も好きである。  
しかし その考え方は 受け入れ難い。  
理解はできるが 受入れられない。

どうしたって 自分は やっぱり 日本人なのだ。  
脈々と 細くはなったが その精神は 受け継がれている。  
でも 純粋ではない。  
悲しいことに 純粋ではない。  
どこまで 遡れば 純粋な日本人に会えるのだろうか？

自分の毒された部分を 排除する訳にもいかず  
毒されたからといって それが 本当の毒とは 限らないし  
それに 潜在する意識を排除すれば それは 自分ではなくなってしまう。

こうして 日本は 他を受入れることで 苦難をくぐりぬけてきたのだろう。  
やっぱり 自分は日本人であり  
これからも 日本人は 変わって行くのだろう。

★11月28日

外部ストアって何？ NEWってあるけど。

井の中の蛙 大海を知らず。

果たして 外に出ることは 良いことなのか？

外に出た途端・・・・・・・・

悪ガキにつかまって おけつにストロー刺されて ぷ～って ことも。

カラスにとか 猫とか 捕まって 八つ裂きにとか

だったら 井の中にいた方が・・・・・・・・。

とすることで 何だかわからないけど 外部ストア連携 することにして見た。

審査って 審査あるんですね。 何 審査するんだろ。

はじかれたらって思うと 怖いです。

やっぱ 井の中の蛙 でもいいかなあ・・・・・・・・とか。

と言っても だからって 人の目に付くとは 限らないでしょ。

そもそも 外部ストアが何ぼのもんじゃろ・・・・・・・・？

とか言っちゃって 今よりは 市場は拡大する訳で・・・・・・・・。

その分 変な人に目つけられる確率もあがるわけで

なれなれしくされちゃったりとか

手厳しい批評とかされちゃったら・・・・・・・・とか。

だったら 今のまんま 当らず障らず 井の中の蛙でも・・・・・・・・。

ぐちゃぐちゃ考えるより 様子を見ることにしろや。

とすることで その時は その時で 気楽にいくことにした。

★11月4日

相変わらず、NHK7時のにゅ～す！女子アナは、とちっている。  
何時になったら、間違わずに読み上げられるようになるのだから。

どうせ売れないなら、本の価格を上げて見た。  
自分を安売りするのは、やめた。  
惨めさが増す。  
ダメならダメでいいじゃないの。  
そんな感じ。

★11月21日

なかなか進まん。  
ってか 中断中断中断が続くと、文の流れも変わってくるよね。  
だ・である から です・ます調べとか。  
なんとなく いけないような気がする。  
その場の勢いに任せて 書いちゃうとか  
後での修正が 大変。

★11月27日

「燃える赤い月」を 昨夜 久々に 読み返してみた。  
・・・・・・・・・・。  
最後の頁が なんだか きもい。  
ポジティブすぎて。  
こっぴつかしいって言うの？

ということで 手直しして見た。

且つ、どうして人々に受入れないのか 考えて見た。  
それが分れば 今頃は・・・・・・・・。

取敢えず 長く久々に読み返して感じたことは  
暗いよね。なんだか・・・・・・・・。

★8月18日

オリンピックも終わり 一段落したので 取敢えず 中断してたの 再開することにした。  
何か 喉が痛いな。  
多分 煙草害。  
吸う人には分らない アレルギーの苦しみ。

気分が 殺される。  
Σえっ！ そがれるって 殺されるって書くんだ～。  
ニホンムツカソ。

そう 時代は すでに 戦後じゃねえ。  
隣国どもの横暴に 憤懣やるかたなし。  
弱腰外交 とて 所詮 国民の声は 日本海の波に 虚しく 消えゆ。  
もはや 戦後じゃね。  
敗戦国の汚名を絶て。

ツシマヤマネコは 明日も 同じ 平穏な日常を 過ごせるのだろうか？

★8月25日

非常に 不愉快。  
竹島も 尖閣諸島も 千島も 樺太のことも  
あっちこっちから たかれることも  
それが 国民の血税だ ってことも

今日は なんだか むなくそ 悪いな  
どうして おなごんさんは 話を ややこしくしたいのだろう  
まじ ムカツク。  
いらん登場人物 登場させて

話は 無駄に 長いし  
必要な情報だけ 述べればいいのに  
このくそ熱いのに  
話の本筋は ぼやけるばかりだ

大変 大変 って 自分で 大変な種 つくっていやがる  
まじ ムカツク。

だらだら 長々聞かされて

こっちのムカツキのやり場はないし

ああ 吐き気がする

まさに 芸術と おなごのじゃべりは 相性わるし

気がそがれる

不愉快の なにものでもなし

★7月21日

越前水仙の続きである。

娘の名前を 見つけた。

「仙」と言うらしい。

多分 こじつけだと思うけどね。

また 淡路島にある灘水仙郷は 平家の落人が植えたと言う。

ん？

確か 水仙の球根は 中国より漂流してきたと聞いたが。

その通り 黒潮にのって漂着した説も。

日本水仙三大自生地にも 数えられる 千葉県 房総半島の水仙。

こちらは 江戸時代 和尚が中国から持ち帰り 植え広まったのがはじまりだそうだ。

★7月22日

そして 日本水仙三大自生地にも 越前・淡路そして 下田須崎半島の瓜木崎。

静岡の水仙の自生のはじまりは不明。

次。

中国からの漂着物について。

黒潮に乗ってやってきた 漂着物。

日本の海流について 調べてみた。

既に 小学校の社会化イベル 且つ、地理で習ったはずだが・・・。

そんなもん 遥か彼方の 今は昔。

水仙の球根は 浪にのって やって来たという。

黒潮は フィリピン当りで発生し 沖縄の北部当りで別れ 北上するのが対馬海流である。

黒潮は 太平洋側では 淡路島 伊豆半島 房総はんとうへと

そして 対馬海流にのって 日本海側へと。

★7月19日

そんなわけで 石鹼を作ってみた。

何か 身体中 特に 太ももとか脛とか 手とか・・・

ピリピリしますね。

多分 液が飛んだのでしょう。

かなり危険な 劇薬 使用。

やばいんじゃないの と 思いつつ なかったことに・・・ピリピリ。

勿論 匂いは アロマソープ。

アロマの香りを プンポンさせた ~♪

勿論 香りは 100%天然所謂精油。

でも それって 不可能なんですよ。

苛性ソーダに触れた途端 匂いは破壊されるらしい。

そこで・・・必殺技を 発見。

作ってみた。

・・・微妙。

そんなこんなで 続き 書く暇がない。

そして 今日 正に 今日。

むくむく・・・と 興味がわいたのが

お手軽ペットボトル軟水器。

作ってみよか？

改めて 読んでみた。

作る自信 アリだが 例のごとく 材料集めに難儀しそう。

といわけで 今回は パス。

とは言え 未練たらたら・・・。

★6月28日

今日 NH\*苦勞ずup現代 で サイバ~攻撃についてやっていました。  
確かに 怖い。  
政府機関とか公的機関とか そして 民間企業迄もが

個人に対しては どんな悪さするのだろう.....  
一番心配なのが ネットバンキングとか お金関係。  
知らない間に盗まれたらどしよ.....。  
知らない間に お買い物ものされたり.....。  
個人情報 まるまる盗まれたり.....。  
だったら 使わなきゃいいじゃないの と  
しかし 今更 無理。  
ネットじゃないとできないことも 結構 あります。

ちょっとでも PCの調子が悪かったり ネットの繋がりが可笑しかったりすると  
ハッキングかよ と 思ってしまう。

因みに じじいのパブーのパスワード盗んで どうするの？  
侵入して いい感じに編集してくれるとか.....。  
一夜明けたら文豪だった とか.....。  
それはそれで 迷惑だな。

ともあれ なにがなんでも安心して使えるようにしてほしい。

★6月8日

・・・・・・・・・・。

ああ 途絶えてしまった。

書かねば。

でも・・・・・・・・・・。

ああ 分っちゃいるけど

気分になれない。

そう・・・・・・・・・・。

原価計算で 精一杯。

芸術とは かくも 俗世に潰されていくものなのか。

★6月16日 放置ぶれ～の巻。

お試し追加 忘れてた・・・・・・・・。

世俗の用事で 殆ど 放置。

そんな訳で 明日は 父の日か・・・・・・・・。

★6月18日

ギリシャの再選挙が 終わった・・・・・・・・だからなにさっ。

石鹼について 検索しつつの 知識を得た。

つまり 石鹼成分 何%?

石鹼素地100% といえども 石鹼成分100%ではない件。

なるほど・・・・・・・・。

大手で言えば シャボン玉は結構いい線いってるらしい

が しかし 社会的には 何かと世間を お騒がせとか。

そんなわけ 植物油脂100% 且つ、石鹼成分99%以上 なるものを 市場にて 探してみた。

・・・・・・・・・・。

結構 ないもんだなあ ホリッ。

合成洗剤ばっかじゃないの。

と言うか 天然自然とか 言うわ割には 案外 世間様は拘らないらしいな。

つまり なんだかんだうんち君垂れたとて 「安けりゃいいのか。」 と、痛感。

結果 色々な すべるまーけっと 行ったけど

プライベートブランド押しの所は 価格勝負で 内容は いまいち落ちる・・・・・・・・トカ

品質検査の厳しい某スーパーは ところどころ無難なところで留めてる トカ

何かに絞って 調査すると 「案外～」というものが 見えてくる。

★6月2日

以前、日本人はこんなかんじ的な番組をやっていた。

日本人は、人の目をきにする って。

その解説に、欧米人は唯一神信仰で、神と自分との関わりの中で生きているとか。

それに対して、日本人は、人との関わりの中で生きているので、他人が尺度になっている的な

、  
依って、周りから外れてしまうと、村八分になってしまうので、日本人は人の目を気にするようになったんだとさ。

ふむふむ なるほどね。

と、思いつつも、なんかしっくりいかない。

ちょっと前までの苦笑話がある。

バスでの出来事。ぎゃ～ぎゃ～子供が騒いで、困った母は、

「お黙りよ、運転手さんに怒られじゃないのさ。」

それに対して、運転手さんは、

「わたしは怒ったりしませんよ。」と、憮然としたというお話。

地獄で思い出したが、自分が子供の頃は、

「悪いことをしたら、閻魔さまに舌抜かれるよ。」とか

「神様はみんなお見通しだよ。」とか

「天罰が下るよ。」とか、己行動を戒める言葉を言われたものだ。

そして最後の最後に、人は、裁かれるのだ。

今は、言わないのであろうか？

そう言えば、また孫の例を持ち出すが、

婆さんが、孫が余りにも悪垂れるので、見かねて、

「そんなこととしてはダメでしょ。」と、叱ったら、孫の母親からは、

「幼稚園では、良い子なんです。」と、意表をついた言葉が返って来た。

なんのこっちゃ？

そんなら何か、先生の前でお利口さんだったら、他ではワルでもいいんか？

つまりは、いいのだ。

これが、日本の教育である。

学者は、周りの人間同士が監視しあつたと言っていたが、

自分が子供であった頃の日本は、人間の力を越えた、絶対的な力の監視下にあつたと思うけど

？

監視はきついので、庇護とでも言い換えましょか。

宗教・思想の自由は、今の学校教育の中には存在しないように思える。  
家庭においてもね。

★5月31日

もはや、身内だけの訪問か？疑惑。

たまに読み返してみる。

こりゃひどい。

書いているときは、完璧じゃないの、とか思えていたりするのに。

といって、どうほどこしてよいのやら。

確かに、これにお金を払えと要求するのは、無謀かも。

しかしながら、少数とはいえ、未だに尋ねに来てくれる人がいるので、感謝。

読んでくれているかどうかは定かじゃないけどね。

ということで、明日にでも、ちょっと手直しできたらしてみる。

敗因の要因としては、やはり、分りづらいというか、共感し難いのであろうか？

文字数が少ないだけに、チープな感じを受けるのではないだろうか？

確かに・・・「言葉を越えた共通の認識（経験）」については、及ばないところがある。

「一般的な」と、「個人的な」感覚とか、体験といったものの溝を、どう埋めたらいいのだろうか？

孫と話をしている時のことであるが、孫が教会を知らないということに、驚いた。

小学校に上がったというのに、十字架も知らないという。

伴天連ならずも、テレビや書物、街並といった生活の中で、見て無いわけがないはずなのに。

最近の子供に至っては、地獄も知らないという。

書物は、ある程度の知識を持って理解するものなのか、

それとも、書物によって、知識を得るものなのか、

また、努力してまで理解しようとする書物に値するのか、

とか、読んでもらおうと思えば、色々なことに配慮がいるのだなと、考えさせられる。

★5月22日

なかなか日本の景気が回復しない。

希臘人炒 むかっとくるけど・・・仕方ない。

無名であるとか 経済不穏とか 色々理由はあげられるけど  
方針を ちょっと 変えて見た。

題して、「気に入った人はこ～てくりえ～」作戦。

新人作家育成の為に、また、経済の危機救済の為に、  
温かいご支援を お願いします。

と言うことで 全頁解放し 気に入ったら資金援助という形に変えてみることにした。  
思えば 評価の不確かな文章に お金を払え と言う方が 無謀なこと。

まあ ともあれ ゆっくりじっくりやっています。

★5月30日

多分、埋もれ欠けているのでは・・・。

いや、もう既に、埋もれてしまっているのでは・・・。

じじい～には なすすべがわからない。

久しぶりに 続きを書いて見た。

もう ストーリーは ほぼ出来上がっているけど、でも 書く気になれない。

そんなこんなで うだうだしているうちに 新鮮味が薄れてしまう。

ここで ぐっと留まって・・・じゃないと 自然消滅に。

だから 頑張ってみることにした。

それはそ～と

以前 こんな話を聞いたことがある。

更生の達人か、なんだか、いずれにしても、文章の達人のはなしであるが、  
達人の域に達したものは、何やら、文章の変化がわかるらしい。

例えば、ここでトイレタイムかよ とか、ここで飽きたのかよ とか、  
・・・おそるべし。

それって 一気に書き上げろってことなのかな？

無理だな。

それにしても ちょっと長らく放置しちゃったな。

それ程までかは分らないけど、ちょっとした気の緩みで感覚が鈍ってしまう、っていうことは否めない。

★5月12日

昨日 お試し頁を開けて そして今日 読み返してみた。

何か変。 と言うことで 少し 変えてみた。

実は ちょっと不安なことがあるのだ。

「砂漠の～」は 一夫多妻制度なのだが それが表現されていない。

そして とっても不安なことなのだが、

イスラムの社会とか村の構造とか が 書けていんじゃないのかな・・・と。

それは ほれ 物語だし・・・架空世界を書いたのだから と 言い訳してみたり。

でも 本心では そこら辺出身の人に 聞いてみたい。 これでよいのか？ と・・・。

プロって、

資料とか 作ってくれたりとかしてくれる人 いるんでしょ？ 情報が ほしい～。

取材旅行とか経費が出たりするんでしょ？ 行ってみたい・・・。

と 羨んでみたりして。

★5月14日

人の足も また 途絶え気味。

何か 思うのだが、 じじい～の作品って 一般受けしないのかな？ 理解されないっての？

人が読んで ピンと来ないんじゃないかな？ と。

まあ 平たく言えば・・・「なんじゃ これ？」 といった具合。

ましてや 学校の国語の時間をまじめに受けている人には 尚のこと 受け入れ難いのやも知れぬ。

思い起こせば じじい～的にも 若い頃にはそうであった。

国語の成績は すこぶる悪かったが・・・。 こんな文体 読んでて キモかった。

違和感があるといか・・・兎に角 苛々した。

なぜならば ちゃんと書いていないってのかな・・・。

情報が 曖昧で はっきりしてないんだよね。

正に 「ないこれ？」 って感じ。 ちゃんと 書けよ。 っ と 思った。

それに 外国の小説も苦手だった。

表現が 理解できなかつたし、独特の言い回しが 兎に角 キモかった。

キモさあまって 今となっては うつってしまったが・・・。

ざっくりくくれば こんなことかな？

それでも 書くという・・・。

こんな感じ。



★5月1日

絵を描くのは やめた。  
一応努力はしたのだから。  
これでよいか？

次

長編 気が乗らない。  
そもそも 途中で飽きて しんどくなっちゃう。  
次の作品 行ってよいか？

★5月4日

短編 書いてるつもりが 長くなってる・・・・・・。  
なので 長編 でよいか。  
気分がのれば シリーズものにしてみたり。  
そんな感じで その場しのぎの いい加減さ。

明日と言わず 今日 何が起こるかわからないからね。  
せいぜい 悔いのないように 書くことにします。

それにしても 「～雨の」 の 閲覧数が 以外に多い。  
嬉しいことではあるが・・・・・・。  
ひょっとして タイトルに釣られて きてんじやなだろかとか・・・・・・。  
すまんの～ 期待してるような内容じゃなくて。と 苦笑いしてみたり。

★5月7日

連休だからって じじい～の日常に 変わらない。  
天候は 大暴れしてたけど。  
悲惨な事故も ありましたね。

実は 我が一族にも 何十年も前の話ではあるが  
大きな交通事故に関わったという悲劇があった。  
ニュースで 死者の中に じじい～のじじい～の名前を筆頭に、家族が数名死亡の報道が。  
親戚一同は みな大驚き。  
わが一族が 帰宅した時には 電話が来て その悲報が告げられた。  
しかし 事故に巻き込まれて死亡したという じじい～のじじい～は 目の前に。

同姓同名の人物であった。  
が しかし 話は そこで終わりはしなかったのである。

その亡くなった同姓同名の人であるが なんと 親戚の姻戚であった。  
だから 一部 我々の親戚筋も含まれるのだが。

なんとも信じがたい 複雑な心境であった。

★4月27日

一端 途絶えてしまったお客様の足が また 来てくれるようになった。  
沢山の人 って言う訳にはいかないけど 嬉しい。  
でも それって ひよとしたら 身内の人 かも・・・と。  
それにしても 変動がないっていうのは やっぱり寂しいものだ。  
そこは割り切って 書くために書いているのだ と 納得はしているものの  
やっぱり 誰かに認められたい という慾が出てきてしまう。

絵・・・・・・・・書けない。  
絵の持つ効果ってなんなんだろ と考えてみた。

やはり 自分の文章表現だけでは 限界がある。  
状況を ちくいち 文章によって書き表すといことは だらだらと長く  
印象が ぼやけてしまうのではないだろうか？  
特に 自分の様な 詩的な表現を用いるものとしては 言葉が死んでしまう。  
何時も 実は 10頁位に納めるつもりで書いているのだが ついつい長くなってしまふ。  
書いているうちに あれもこれも 書かねば 読む側に伝わらない と  
どんどん増えて行ってしまうのだ。  
それでは 流れが 途絶えてしまふ。

自分は 読む人によって完成してもらふものを 理想としている。  
つまり 読み手の想像の余地を開けておく ということである。

絵を入れることでその邪魔をするのではないか という懸念がある。  
読む人に 先入観を植え付けてしまうのではないか？  
それは 読み手の想像力を奪うことになりやしないかと・・・・・・・・。

しかしながら 文章によって 全てを表現することは やはり不可能である。  
視覚的表現も含めて 受け取り側の想像性を引き出せたなら それは正に理想の形である。  
そこまで 自分の力が高まってくれるのなら 凄いこと。  
なかなか 高みには 登れない。  
どうしても 本来なら読む人に感じてほしいことを 文章にしてしまふ。  
結果 ベたなものになってしまうのだ。  
やはり そこはほれ 凡人代表の所以なのでしょ。

★4月30日

絵を描いてみた。

へたくそっ！

てんでダメダメです。

無理。

一応 トライしてみたってことで・・・・・・・・。

★4月25日

意を決して 絵を描いてみることにした。  
文章表現力のみで 勝負したかったんですけど  
やはり ヴィジュアル系には かなわない。

絵本が好きで 嘗て 露西亞の本屋さんで 何冊か絵本を買った。  
民話っての 昔からある民衆に語り継がれている話なので  
知った内容であると思うのだが なんて書いているか分からないから 多分 あれかなと想像

文章は 主にプーシキンが書いたものを選んで買ってきた。  
且つ、絵は なんってたっけ 有名な人。アール・デコ っぽい感じ。  
同時にその人の画集も買ってきたのだが なんせ そこは露西亞・・・・・・・・。  
それしかないってんで ぼろぼろ。  
もっと 絵本 欲しい。  
みんなにも見てほしいのだが 載せたら著作権侵害になってしまうでの  
仕方ないから 露西亞に行ったら 見てきてね。

決意しただけで まだ 描いてない。  
なんか 難しそう。Upまで こぎつけるかどうか・・・・・・・・。

★4月26日

雨のマリ〜が 思いもかけず閲覧数があるので 意外であった。  
自分的には ベタでこっぱつかしい感じでもあったのだが、  
ちよろ見だとしても 来てくれたということで 素直に嬉しい。

そんなわけで 久しぶりに 読み返してみた。  
深夜のせいか 自分でも意外に 思ったよりはできてる と思ったりしちゃった。  
何箇所か ニホニホな所があったけど・・・・・・・・。  
本気で 聖パウロ書店に売りに行ったろかと 思っちゃったりなんかして・・・・・・・・。

さすがに やっぱ すごいわ と思ったのが  
旧約を参考にした箇所は Σうっ・・・・・・・・ときた。  
何千年も語り継がれてるだけあるなと ちょっとした衝撃を受けた。

深夜にお手紙 特に ラブレターは書くな と言われてますね。  
脳みそが ちょっと・・・・・・・・ね。 御愛嬌御愛嬌。

そーわ言うものの 自分が思っているほど 読む人は 違っていたりするものだし。  
やっぱ なかなか追いつけないってのかな・・・・・・・・。

正に 日々精進 だよな。

★4月24日 NHKのクロ～ズアップ現代を見た。

今日のお題は 漢方の危機。

中医学と漢方って 全くの別ものなのですね。

漢方なら 東洋どこでも同じかと思った。

今 生薬が高騰しているらしい。嘗ての 5倍とか・・・。

欧米でも注目されてきて 需要が増えすぎ 値がつりあがっているそう。

日本でも 国内生産を計画中で 国内でできるものは国内で

煙草栽培や減反で放置された畑を 活用しようとしているらしい。

それは いいことだ。 煙草は滅びの道へと向かった方が良く。

それは ほれ 置いといて・・・。

この前 UPした 「～燃える赤い月」 であるが

これ お客様の入りが悪くだけ・・・。

それはそうと この物語を書くに当たって 東南アジア 特に ミャンマーあたりを リサーチしてみた。

日本の企業は 中国以外にも独自のルートがあるらしく 東南アジアの生薬の輸入も行っているようだ。

中でも 関心を引いたのが 日本の団体の活動である。

麻薬栽培を 薬草栽培へと移行させる運動である。

そういえば 内戦に巻き込まれた青年も 似た活動をしていたなと 思い出した。

確か彼は 麻薬から稲作への指導をしたのであったかな。 とても残念。

こうした活動は 広く世間の人に知ってほしい。

何ていったか・・・後進国の権利を保護する法律を決める会議があったっけ。

特に アフリカの国に多いことだか 自分の国でとれる植物や動物や鉱物などを

先進国・中国や韓国といった新興国が 不当に利権を搾取することを禁じ

正当な利益を 其の国に支払わねばならない とかいう法律。

余談であるが パンダはどうよ？

某国は 幸せの国ブータンとかいろんな国の領土に侵入して実効支配したりして

ミャンマーにおいても ミ軍とは特別な仲のようで

そんなこんなで 特にどこの国とは言えわれないけれど

国民がせっかく栽培した生薬 国民に還元されることもなく 騙しとられそうな予感・・・。

そんなことを思い出したりした。

★4月22日

気分が滅入る。人の通りが完全途絶えてしまった。

それは 需要がないという証拠。

受け入れられないという証拠。

素直に 寂しい。

何をやっても 何に於いても ただ埋もれて行くだけの自分。

どこに救いはあるのだろう。

должен писать！ должен писать！

明日のためのその1 書くべし！ 書くべし！

ぬお～ そうだろ～ とっつあんよお～。

というわけで また 懲りずに書くことにした。

今回は 長編に挑戦だ～い。

★4月23日 Σけろちゃんぶっくり！

まずは 告知： どんどん頁が増えて 見づらいし カキコしづらいので

ブログ形式に 新しい頁を 前にファイリングすることにした。

それって・・・ん～ ど～でしょ？

次 の件であるが・・・・・・・・

本気で びっくりした。ログインできなくなって・・・・・・・・

何の陰謀かと まじ冷～。

それとも なんかじじい～違反した？ っと

それとは知らずに 著作権侵害とか 誹謗中傷とか しちゃった？

と、真剣に 考えてしまいました。

びいすた なもんで こいつが犯人。

分かってよかた・・・・・・・・

頁確認してみたけど やっぱ変ですね。

★4月17日

コンテストとかあるんですね。

因みに どのジャンルに該当するのかな？と・・・。

絵本 っても 絵 ないし。

童話 っても 子供使用の文章じゃないでしょ 明らかに。

申告に偽り有り ですね。

★4月20日 告知：新作発表

新しい作品ができました。

例のごとく 金曜お試しきゃんぺ～ん！実施。

★4月21日

知合いのお嬢さんのブログが 評判らしい。

人を引く人 埋もれて行く人 何が違うとううのだろう？

それが分れば 埋もれて行くことはないのだろうけど・・・。

遂に 通りすがりのお客さんさえ 来なくなってしまった。

色々 きゃんぺ～ん！を 貼ってみたが 何か 虚しい。

こんなじじい～であるが 思えば ファンだといってくれたオヤジもおったけ・・・。

じゃ 何故書くのだ？ 止めたらいいいじゃないの。

国語の教師が 「よく 何故人は書くのだ？ と聞く馬鹿がおる それは愚問だ」。と

しかし 凡人の自分は やはり疑問を持たずにはいられない。

どうして 書くのだ？・・・と。

должен писать！ должен писать！（書かねばならない）

→誰が 言ったせりふだっけ？ 且つ、これでいいのか？

頭の中に 拳を握りしめ そう堅く呟くやつがいるのだ。

書かねばならぬ 書かねばならぬ。

まるで 呪文のように。

たとえ 埋もれようとも・・・。

★4月2日 告知：1週間だけ全公開きゃんぺ～ん！終了のお知らせ  
白樺の～きゃんぺ～んは 終了しました。

それはそ～と・・・・・・・・次の作品 執筆中。  
なんか パターンって できちゃうよね。  
また 焼け出されるんですか・・・・・・・・と。  
想像力が まったくもって 貧困 なんだよ。  
言い回しも かぶってる感じだし。

それはほれ 個性とか ～らしい文体とか・・・・・・・・じゃ 駄目ですか？

★4月4日 おかまの日だ。

今日は 一日暇だったので 続きを書いてみた。  
恐ろしく 疲れた。  
朝から 何時間 書き続けたろ？  
限界だ・・・・・・・・。  
読み返したら ぶっ！ 乱れてる。  
後で直さねば・・・・・・・・でも 今日はもうやめとこ。  
頭が もじゃもじゃ。

★4月8日

今 とんでもない事態に陥ってしまってます。  
まあ 自業自得ですけどね。  
この際 どんどん書き上げちゃいましょ とかで  
疲労で脳みそ停止 それでも この際 どんどん・・・・・・・・  
おかげで 今 直しですよ。まったく・・・・・・・・。  
別に だらだら これでもいいんですけどね。  
無駄に頁ばっか増えちゃって 自分的には いい状態ではないでしょ。  
ただ だらだらぐたぐた書きゃいいもんじゃないんだから・・・・・・・・。  
書きなおした方が早いかもとか  
めんどからこのままでもとか  
でも ここは 心強く 妥協はしないことにした。

★4月9日

連は 3行 それとも4行？  
今回は 4行で書いてみた。  
読み返すと 3行の方が すっきりした感じ。

1 頁の行数に 変わりはないのだが . . . . .。

3 × 8 4 × 6。

3 行の方が 情報多く入れ込める感。

リズムもなんじゃら もたもたした感じ。

失敗した . . . . .でも 書き直すのは めんどくさい。

このまま最後まで ぶちぎるつもりだけど。

★3月26日

面白い歌を見つけた。調べてみた。

La rosa en florece バラの花がひらく（セファルディ民謡）

エスニックで 且つ、ノスタルジックな雰囲気強い。

ジュデズモ語=ユダヤ・スペイン語で書かれたのものであるか？

セファルディとは イベリア半島あたりに住んでいた スペイン系ユダヤ人のこと。

1492年 スペインは イスラム政権からキリスト教政権へ移行。

同年 キリストに改宗しないものは国から追放との命が出る。

ユダヤ教徒およびイスラム教徒は国を追われ。

この歌は ままならぬ恋の歌であるが 遠く追われた地で

バルカン半島あたりで 長く歌い継がれているという。

そう言えば ユダヤ人が使う言葉で イディッシュ語（ドイツ語の方言）というのがあったな。

日本では ロシア民謡として御馴染の 「ドナ・ドナ」の原本が この言葉で書かれている。

元になった詩は 酷使される牛の姿になぞられて ユダヤの民の受難を歌ったものである。

と 以前調べたことを 思いだした。

★3月27日 恐るべし ユダヤの陰謀。

何故 ドナ・ドナを調べようかと思ったかというと

ドナ・ドナって何さ？ そもそも子供の歌ににしては 暗くない？

といった 月並みな理由からである。

はじめは アメリカの人権運動的な要素を入れた ポップス だったそうで

ヒットはしたものの 一過性のものだったらしい。

それを 日本に持ち込み こどもの歌 として今でも歌い継がれていることに ビックリ。

幼児期を日本で暮らした子供であるなら 誰もが知っている歌である。

何故 一過性のポップスを こどもの歌 にしようと思ったのだろうか？

これが世に言う「ユダヤの陰謀」なのだろうか？

ドナ・ドナって何？ 何か暗い歌だよね と じじい~のような暇人は ぐっぐてみちゃう。

たどり着くのは 流浪の民の受難 である。

差別 と言えば 日本人にとっては 黒人差別 が頭に浮かぶ。

しかし 欧米に於いては 差別を受けるのは 黒人だけではない。

代表的なのは ジプシー（ロマ）やユダヤ。 今は トルコ人やアラブ系スパニッシュ系など

いろんところで 差別は無くならないし 新たな差別も生まれている。

日本人もまた 差別される対象にあるし 差別をする側にもなる。

遥かに遠い東の果てで 子供たちが 受難の詩を 歌っている。

ユダヤの民は そんなこと 知っているのだろうか？

日本人が戒めの為にそうしたのか それともユダヤ人の陰謀なのか

歌の力は凄い と 思った。

★3月23日 Σ緊急告知：新刊出た。

やれやれ かなり長くなってしまった。

だらだらと 書いてしまった。

書いて行くうちに 飽きてしまった。

多分 著作権侵害 してないと思うけど？

今度は 「週刊刊行きゃんぺ～ん！」

毎週金曜日 公開頁が増えてくよ。

先を読みたい人は 有料でね。

★3月24日

実は、2作目のきゃんぺ～んは 既に考えておる。

心配には及ばぬ。

なんだか書き終わると虚しいな。

というか パックたつもりは無いけれど

著作権侵害してるかも とか 思ってしまう。

なぜなら 人の発想にそう大差があるとは思えないし

使う言葉とて 斬新な表現と言うものは なかなかできるものとは思えない。

また 残存現象 とでもいようか

以前読んだことがあるとか どこかで聞いたことのある話とか

自分では覚えがなくとも 脳の中に残ってたりする

そう考えると 自信がなくなってしまうのだ。

★3月25日 告知：きゃんぺ～ん終了・開始のお知らせ

白樺の森で 週替わり公開きゃんぺ～ん 3月25日をもって終了

引き続き 3月26日より1週間に限り 前頁公開予定。

次

雨の～ 新きゃんぺ～ん 発表！

題して「ケツからきゃんぺ～ん！」

3月26日より 週替わりで末頁から公開予定。

Σどうぞ期待！！

★3月20日 彼岸の中日。

芸術は そもそも 神に奉納するのだったらしい。  
そして 神を賛美し 庶民を啓蒙する為に利用し  
権力者は 人民を 扇動する手段に使い  
若者は 権力に抗った。

今、平和ボケの日本で、何と戦おうとするのだろう。

嘗てペンが力であった時代。  
権利を叫んだ時代。  
命を削って 民衆に訴え続けた。

常に 何かと戦わねばならないのか？

芸術は 解放と叫び破壊し 自由を掲げて新しいものを貪った。  
結果 どこにたどり着いたのであろう。  
深さ増すほど難解さを増し  
新しいものは新たな束縛をうむ。

ただ「美しい」というだけでは だめなのだろうか？

どんな社会になろうとも  
人生は悩むことであり 生きることは汚い。  
世の中は 不条理だらけだ。

今は 自分のための自分との戦い ということなのだろうか？  
ややをもすれば それは 自己満足 というものかね・・・・・・？

★3月18日

やはりここは堪えて・・・・・・・・。

自分は何に 一番重きをおいているのだろう？

リズムであろうか 音であろうか。

韻を踏まず といえど お決まりの法則に従ってはいないものの

やはり 気が付けば 気分よくリズム刻むために 韻を踏んだりしている。

音を合わせるためには それこそ 韻を踏むと効果的だ。

新進気鋭の斬新な音楽は 主音はなく和音は不調で リズムは独特のリズムを刻む。

じじい〜的感覚では もはや がらくた にしか聞こえない。

絵画においてもそうだ。

超現実主義まですっ飛んでしまったら なにがなんだか・・・・・・・・。

これが芸術だ！ と言われれば 言いはったもん勝ちで 納得せざる負えない。

新しいものを見出すことが芸術であり

ぶっ壊すことが芸術であり

それは 解放であり なんでもありの 自由で気ままに

とつても 都合のよい時代である。

但し それが 「芸術である」と言う 説得力が 作り手にあればのことだが

大抵は がらくた で 終わってしまいそう。

自分には やはり理解しがたく 到底 「がらくた」さえ作り出す能力は無く

それは 「感性がない」ということであるわけだし

そういう意味では バリバリの凡人 と認めざる負えない。

故に自分は 古典的で 原始的な技法に 頼らざる負えない。

なにより 感謝すべきは 現代に生きていることだ。

自分は 規則に雁字搦めなお約束には 従う能力がないからである。

★3月16日

ざっくり自由詩 とかかって ちゃっかり分類しちゃったけど 本当にそれでよいのか？  
なんか 逃げてやしないか？  
ちょっと反省して もう一度 作品を省みることにした。  
で、こそこそと こっそり こそっと手直し。姑息なじじい〜めっ。

声を出して 読み上げてみた。

ぬぬぬぬぬ・・・・舌が回らん。早口言葉かよ・・・・。  
いやいや 老化現象でしょ。

★3月17日

詩とはなんたるか を調べてみた。

自分は 文学部でもないし 文芸部でもないし  
文芸に関する雑誌 なんて 読まないし  
結局・・・・・・よく分らん。

うだうだと 分類したり 分析したり なんの意味があるのだろうか？

「表現する」ことに対して なにかしらの意義を持たせねばならないのだろうか？

なんだか 面倒臭いな。

でも 参考になはなるよな。

だからって 意識するあまり 意図的なものになったら厭だな。

狙いすぎ っの？

・・・・・・そもそも その「的」自体 大きく外れてる気も無きにしもあらず。

★3月12日 じじい～著作権侵害疑惑。

2作目の作品だが 哀歌3.31ら辺をぱくってみた。  
遠く忘れてしまったので 久しぶりに聖書を読んだ。  
といっても クリスマスではないですよ。  
それに 聖書って 訓たれてて あまり好きではない。  
だらだら長いしね。

まあ ｷﾘｽﾄ教関連の話を書いたので  
それっぽいこと 付け加えた方がいいかな とか思ったりして。

これも なんか きゃんぺ～ん！ はったほうがよいのかな？  
なんか 新たな手段を考えてみることにするよ。

★3月15日 今日はクキ安いですか？

自分の作品って 何に分類されるのか 考えてみた。  
それは 良いか悪いかの評価を外してであるが。

まずは 実用的・非実用的→ 非実用的。

散文・韻文→じじい～流規則があるらしいから 韻文。

韻文のなにさ→語数に制限無し とはいえ 3行4行からなり とはいえ 韻は踏んでおらず  
ざっくり 韻文詩 でいよいよか？

次に 韻文詩とするならば 韻律についてであるが

日本古来の伝統的な 5・7・5・7・7 といった一定の音節とやらは 完全無視。

では 西欧に見られる韻律の使用であるが 当然ながら

単語のｲﾝﾄﾈｰｼｮﾝの強弱や長短の組み合わせから成る「詩脚」なるものも 見ることがない。

おやおや これは まずい。

それなら 思い切って遡っちゃいましょ。

と言うことで パラレリズムについてはどうである。

パラレリズムとは ヘブライ語文学の最高峰 聖書でよく見る あれだそうだ。

初期の漢詩においても よく使われた技法だそうで

つまり 2つ以上の文に 類似する要素を与え 一定の型を作ることらしい。

たまに こんなの 使っていると思うけど。

ぐだぐだ分析してみたが ようするに 自由詩 で いんじゃないの？

★3月10日 アダージョについて調べてみた。

アルビノーニのアダージョであるが ちょっと面白い裏話がある。

因みに アルビノーニ（伊1671年6月8日-1751年1月17日）。

アルビノーニのアダージョは 1958年に 出版。

実際作曲したのは レモ・ジャゾット（伊1910年9月4日-1998年8月26日）。

タイトルに名前までのっちゃってるけど 明らかな 捏造。

しかも 捏造の犯人が レモ・ジャゾットだという。

ジャゾットは 真っ向から全否定。

譲歩して 編曲はしたけどね とあくまでもしらをきろうとする。

ジャゾットが アルビノーニの名前を騙って

自分の作品を世に出したのも なんとなく 分らないでもない。

有名な人は 何かと評価を受けやすい。

無名な一学者が発表したところで 果たして相手にされたであろうか？

そう思うと 人っていい加減だな・・・と思わずにはいられない。

それにしても この曲が世に認められても尚 否定し続けたといことはどうゆうことなのだろう？

人の感性を信じられなかったのであろうか。

一説には アルビノーニのことが好きすぎて名を騙った とあるけど。

それって どうゆう意味？

それはそうとして 音楽超大好き夕宅オヤジの御乱心から編み出された正に 珠玉の逸品。

まんまと 音楽史に残る名曲となったな。

次に 弦楽のためのアダージョ であるが。初演は1938年。

作曲者：サミュエル・バーバー（米1910年3月9日 - 1981年1月23日）

ケネディーのお葬式に使用されて以来 お葬式曲の定番となり

「葬式の為に作ったんじゃない」と バーバーぶーぶー言っておったそう。

・・・ん？ 素人耳には なんか似てるよなあ・・・。

なんだ この しっくりこない感は？

結局のところ オリジナルは 誰なんですか？

モジャモゾモジャゾット 面倒臭いやつめっ！

誰が どれ作ったか なんて 音楽界の人達にとっては重要なことかもひれないけど 般び〜じじい〜には どうでもいい話。

第一 人の名前とか 曲名とか 覚えるのめんどいし

全くの主観的観賞に徹してますね。

★3月9日

たまたま耳にした アルビノーニのアダージョ。

いいわあ〜。

お葬式とかかかるあの曲だけど

同じく お葬式曲 といったら G線上のアリア。

因みに G線上って G戦場だと思ってました。

G線上のアリアは アダージョに比べたら 軽いというか・・・明るい感じもあるよね。

アダージョは もっと重い。

思わず 懺悔したくなるような 突き上げてくる 悔恨の念。

郷愁 と表現する人もいるけど。

人は生きながらにして罪びとである と感じさせられる。

1~11~7 で見つけた カラヤンのアダージョ

リンク先張り付けようかと思ったけど

著作権とかなんとかで面倒だから 止めた。

多分ロシア人がUpしたものであろう。

投稿画面には キリル文字が書かれてた。

画像は ロシアの風景であろうか？

美しいロシアの自然。

それが 文明の発展とともに壊されて

すさんだ光景へと。

後半では 津波が街を呑み込む画像。

この画像は 見たくない。

いかにも作りものではあるけれど

一瞬 ギョっとする。

たっぷり11.50と カラヤンのアダージョは 長い。

とても丁寧で 繊細だ。

まるで語りかけているよう。

音楽のことはよくは分らない無粋なじじい〜であるが

感性に響く。

素直に 天才が羨ましい。

★3月5日

今日日 アメリカで日本人ベテラン歌手が人気があると評判である。  
ちょっと前に NHKで 何故彼女の歌声はアメリカ人を魅了するのか？ を分析していた。  
学者たちは もっともらしいこと並べ立てたけど  
ゲストの米国人詩人が 美しいことを言った。  
「歌を聞いて 言葉が分らなくとも 風景がみえるから」 と。  
なるほど。  
自分としては 一番しっくりいく。

自分も 風景が見えるような文章が書けたらなと  
日々精進している・・・ツ刊。

★3月7日 じじい～さくら疑惑。

自分の作品って web上どんな感じかな？と 素朴に疑問。  
ログインしないで 自分の作品に接触しちゃったりして  
それって もしかしたら 閲覧数にカウントされちゃってんですか？

あと まだやったこたないんですけど  
まずは自分ので お試しで と  
ダウンロードやっちまう気ではいるんですけど  
それって 人気捏造 になるんでしょかね？

★3月8日 告知：新書刊行

第2作 完成。さっそくUp。  
きもいから 13円。  
何度 止めたいおもたことか・・・。  
今回は しょっぱなから 1頁お試しかつ。

実は じじい～だって 考えたよ。  
まずは全頁お試しキャン°~ン！  
そこを敢て 週替わり頁公開キャン°~ン へ。

見てみたら 何頁か表記がないし・・・  
途中から公開されてもね・・・  
しかも 続けて読まねば・・・  
といって 続きを待ち望んでいるって感 全くないし。

このキャンパ〜ン なんか失敗みたい。

★3月5日

越前水仙の伝説であるが・・・・。

やけにお話が具体的なのが気になる。

そのわりに 娘についてはかなりぼやんとしている。

この娘であるが 名前さえ分らない。

何故であろうか？

時代背景から 平家関係筋の娘であろうか？

調べてみたら 実際 娘が助けられた越廼村のそばに

梨子ヶ平集落 という平家の落人村があるらしい。

水仙は 平安末期 中国より渡来したのではなかろうか？ と言われているらしい。

書物での登場は 室町時代からだそうだ。

足利将軍に献上されたり 華道では生花の花材として 珍重されたという記録があるらしい。

他にも 水仙の伝説がある。こちらは 越後。

新潟の松之山に伝えられている 松山鏡 である。

これは 奈良時代までさかのぼるのだが・・・・。

大伴家持の娘京子の話である。 ある日 京子の母は病となった。

母は京子に 「寂しくなったら鏡をごらん。若い時のお母さんに会えますから」 と大切にしていた鏡を渡し 亡くなった。

京子は 言われた通り 寂しい時は母からもらった鏡を眺め 若い頃の母の顔に慰めてもらった。

家持は後妻をめぐらした。

ある日 強く折檻された京子は 鏡ヶ池で泣いていた。

ふと 池の水もを見れば 母が悲しげな顔が映っておった。

京子は思わず 「お母さん！」と叫んで 池の中に落ちてしまった。

村人達は 京子を探したが 見つかることは無かった。

やがて 京子が沈んだ池に島ができ そこに紅水仙が咲いた。

村人たちは 京子の鏡の裏に彫られた水仙の化身に違いない と言ったとき。

家持が この地に来たという事実はないらしい。

明らかに作り話なのであろうが 具体的な名前が出てくるところがなんともおかし。

探せば 水仙にまつわる伝説は他にもあるかもしれない。

また これらの伝説に似た話や 変化した話しは多いらしい。  
自分も 越前水仙の伝説を いつか 書いてみたいと思った。

★3月4日 今日は ひな祭り の残りかぁ。

大河ドラマ平清盛を見てて 遙か遠くの記憶が起き出した。

それは 水仙にまつわる伝説である。

宮中の庭に埋め尽くされた 水仙の花。

鳥羽院が 水仙の花に結んだ歌を環子に送るシーンを見たせであろうか？

水仙は もともと 好きな花である。

ほのかに甘く香る 可憐でかわいらしい花である。

うちでは お正月によく飾る。

今でも 玄関に飾ってあるというか・・・かなり くたびれているけど。

その伝説とは じじい～が ちょっとしたじじい～だった頃 聞いた話である。

乙女が なんだかで追い詰められて 海に飛び込み

しばらくしたら 球根が流れ着き 海辺に可憐な花を咲かせたとかなんとかで

それ以後 どっちだかの方向を向いて 花を咲かすようになったとさ。

こんな話はないかと調べてみた。

水仙の伝説でまず出てくるのが ナルシスの話。

当然これは違うでしょ。

他に 福井の越前水仙の伝説がある。

なんとなく 多分 これかな。

話しは平安末期。 木曾義仲の頃までさかのぼる。

越廼村居倉浦の山本五郎左衛門と長男一郎太は源平の合戦に参戦。

その間 二男二郎太が留守を守っておった。

ある日 二郎太は浜で美しい娘を助け 次第に二人は親しくなった。

合戦は終わり 父は戦死 兄は帰還した。

娘を見た一郎太は次第に心奪われていく。

娘をめぐる兄弟争いが激化し 決闘にまで及ぶ。

対決する二人の姿を見て 追い込まれた娘は海に身を投じてしまう。

次の春 海辺に見たことのない美しい花が咲いてあった。

村人たちは きっとこの花は海に身を投げたあの娘の化身に違いない と、

大切に育て現在に至るとさ。

これが水仙日本発祥物語ということである。と言うことは・・・・・・・・。

鳥羽院の時代 はたして水仙が日本に生殖しておったのか とかは・・・・・・・・。

まあ ドラマですから 多少の演出はありかな・・・・・・・・と。

★2月27日 告知：キャンペーンお試し企画 今日から4週間実施のまき。

初Up。本が売れない・・・・。

当然だと思います。勿論 想定内の範疇です。

しかし まったくのスルーというものでもなさそ。

何人かは 気にとめてくれたみたいで。

やっぱ このままではいけない。

且つ、他人さまの作品も閲覧。

なんか へこむ。

新人の癖に。ましてや 素人めがっ！

かなり生意気。謹んで反省。

そこで 脱トノサマガエル商い計画。

で、キャンペーンをはることにした。

早速 今日より お試し を始める。

週替わりで 公開頁を設定します。

これはかなりお得。

何が？って

4週にわたり お試し企画に参加すれば

なんと 0円で 完読できる・・・・が。

知ってる人だけ得をする。

未だかつてみたこたね企画（多分）。

文豪になるって 極めて俗物的なことまで

考えにゃならんのですか？

★2月22日 今日はニャンニャンニャン。

やっと1作 書き上げた。

いよいよ初Upの予感 ワクワドキドキ。

で 近日公開予定。

★2月23日 今日は富士山の日？

最終チェックをした。

いよいよ 公開 するつもり。

ジャンル・・・って何よ？

何に区分したらいいの？

全てにおいて 適当。

気分で 決めてます。

★2月24日

遂に 初Up してしまいました。

生意気にも 有料で。

しかも 71円 と 中途半端な値段で。

手取り 50円 と 計算しやすい感じだからです。

そうです あたしゃ 計算高いじじい~ですから。

まあ ですかうんとも 考慮のうちです。

著作権侵害？ 多分 してないんじゃないの？

試し読み って 4頁しかないのに・・・ですか？

そんなの 無視です。

たかだか4頁しかないのに 71円は 無謀でしょ。

第一 何万と発行されている中から 人目につくとは 思えん感じ。

表紙 おもいきりし地味だし。

ん？ 自己否定ですか？ 随分と 弱気ですね。

コメントで めたくそに書かれるよりは ひっそりと・・・とか 思っちゃいますね。

★2月26日 今日は何の日。

今日のお誕生日のメンツを検索。

・・・ピクル・ユ・ゴ-さんですね。

与謝野鉄幹さんに・・・

岡本太郎氏は 去年 生誕100周年記念ドラマ やってましたね。

山下洋輔氏・・・

桑田圭祐さん。

沢山いるけど あと知らね。

★2月16日

昨日 お出かけをした。

じじい~のお出かけは 病院だけだとおもうなお。

というわけで 病院に行ったのだが

待合室で暇つぶしに ゴシップ雑誌で一般教養を磨いてきた。

『職無し 友無し 彼女無し』（順序は適当）

芥川賞受賞作家のご紹介だ。

何か しっけいだな。

まあ そんなことはどうでもよいのだ。

じじい~的に 興味を持ったのは

経験は表現力には影響しないのか？

ということである。

「飲み打つ買うは芸の肥し」とよく聞くが……………。

はたして 社会的経験が乏しいのに

豊かな表現ができるのであろうか？ 的なことである。

読んでみないことには 判断しようがないのが。

西洋にはかつて ヴェートフォーフェンなる偉大な作曲家がおったが

彼は晩年 耳が聞こえんようになったそうなの。

それでも尚も名曲を生み出したという。

えらいえらい。

西洋の音楽は法則が有り その法則に沿って作ればできるらしい。

故に ヴェートフォーヘンは耳が聞こえんようになっても名曲が作れた。

と、音楽の時間で聞いたような気がする。

勿論 非凡な想像力と過去の経験が可能にさせたのであろうが。

その芥川賞作家の経験とは 膨大な読書からくるものであろうが

『体感』したものではないだろう。

それを 経験と言えるのだろうか？

それとも 技工になるのだろうか？

いずれにしる 体感しないことまで経験できるとあらば

想像力がずば抜けてすばらしいのであろう。

そういや 日本の文豪たちは 身を持ち崩した人たちや

凡人ではとてもできない生き方をした人たちが多いですね。

平成24年(2012)

---

★2月14日 まずは初日

なんとなく 書いてみたけど

なんだか いまいち わからない

そもそも 文豪らしく 原稿用紙の表示 っていないの？

まあ そんなことはさて置き

試作してみた。

こんだけするのに あせあせ。

前途多難な 文豪へのはじめての一步。

★2月15日

編集しようにも、なかなかどこを開けばいいのか わからじ

もたもた いらいら。

なかなか なれませぬ。

そもそも 表紙のフォントが 気に入らぬ。

.....ぬっ！ 2種類からしか選べないってかぁ.....

## 文豪への道 日々精進 1

<http://p.booklog.jp/book/89444>

著者：苔田 カエル

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/keronojyou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/89444>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/89444>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ